

SMBCマルチバンク資金移動 (VALUX対応版)

ファイル取込・出力フォーマット

第13版 2018/03/30

○出力フォーマットについて

- ・「C」は文字項目(数字を含む)、「N」は数字です。
- ・固定長ファイル(全銀形式、タブ区切り形式)で各項目の桁数が設定値に満たない場合、文字項目の場合は左詰め後ろ半角スペース、数値項目の場合は右詰め前0をセットして文字を埋めます。
- ・データ区切り文字としてカンマ(,)が設定されます。
- ・引用符が”あり”の項目は両端にダブルクォーテーション(”)が設定されます。
- ・数字項目、文字項目のバイト数は項目の最大であり、内容によっては0~最大値の長さを取ります。長さが0の場合は、項目を省略しています。
- ・口座コードの桁数が「N(4)~(12)」の項目は、[導入処理]-[運用設定]メニューの【全般】「ファイル出力時の口座コード桁数」で設定可能とします。
- ・オーバーフロー時は、先頭から指定桁数に切り捨てされます。
- ・改行する場合、レコード単位に後外付けでCR/LF(2バイト)を付けます。

【例】

- 1レコードが200バイトのデータの場合、改行すると202バイトになります。
- 以下のレコードフォーマットは、[各種管理]-[システム環境設定]メニューで[ファイル出力設定]ボタンをクリックすると表示される[ファイル出力設定]画面で、レコード長やEOF付加を設定できます。
 - ・残高照会結果ファイル 全銀形式(バンキング・マネージャー形式)
 - ・残高照会結果ファイル 全銀形式(バランス・マネージャー形式)
 - ・振込入金照会結果ファイル 全銀形式(バンキング・マネージャー形式)
 - ・入出金明細照会結果ファイル 全銀形式(バンキング・マネージャー形式)

【当ファイルを使用する際の注意事項】

当ファイルを使用する際に、ファイル内の記載を変更された場合は、記載内容を保障いたしかねますので、ご了承ください。

目次

【マスター情報 取込・出力フォーマット】

1. 親口座・子口座・通知預金口座 出力フォーマット 3
2. 親口座・子口座・通知預金口座 取込フォーマット 4
3. 入金先口座（都度指定） 出力フォーマット 5
4. 入金先口座（都度指定） 取込フォーマット 6
5. 資金移動パターン 取込フォーマット 7

【ファイル出力フォーマット】

6. 資金移動結果ファイル(CSV) 8
7. 資金移動結果ファイル(全銀形式)HUフォーマット 9
8. 資金移動結果ファイル(全銀形式)SPC/HUフォーマット 10
9. 資金移動結果ファイル(FD形式) 11
10. 資金移動結果ファイル(伝票作成形式) 12
11. 資金移動結果(配分)ファイル(全銀形式 [総合振込]) 14
12. 残高照会結果ファイル(CSV) 15
13. 残高照会結果ファイル(全銀形式) 16
14. 残高照会結果ファイル(バンキング・マネージャー形式) 17
15. 残高照会結果ファイル(バランス・マネージャー形式) 19
16. 振込入金照会結果ファイル(CSV) 21
17. 振込入金照会結果ファイル(全銀形式)HUフォーマット 22
18. 振込入金照会結果ファイル(全銀形式)SPC/HUフォーマット 25
19. 振込入金照会結果ファイル(バンキング・マネージャー形式) 27
20. 入出金明細照会結果ファイル(CSV) 29
21. 入出金明細照会結果ファイル(全銀形式)HUフォーマット 30
22. 入出金明細照会結果ファイル(全銀形式)SPC/HUフォーマット 33
23. 入出金明細照会結果ファイル(バンキング・マネージャー形式) 35

【ファイル出力フォーマット(汎用出力形式)】

24. 資金移動結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り) 38
25. 残高照会結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り) 39
26. 振込入金照会結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り) 40
27. 入出金明細照会結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り) 41
28. 振込振替結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り) 42

【ファイル取込フォーマット】

29. 資金移動データ 取込フォーマット(全銀形式) 44
30. 資金移動データ 取込フォーマット(CSV/タブ区切り) 45
31. 連続振込データ 取込フォーマット(全銀形式) 46
32. 連続振込データ 取込フォーマット(CSV/タブ区切り) 47

1. 親口座・子口座・通知預金口座 出力フォーマット (CSV/タブ区切り)

項番	項目名	桁数	内容
1	口座コード	C(12)	
2	口座の説明	C(30)	
3	銀行コード	N(4)	
4	支店コード	N(3)	
5	預金種目	N(1)	"1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "5":通知預金 "9":その他
6	口座番号	C(7)	
7	加入者番号	C(12)	
8	通信方式	N(2)	"1":VALUX (SPC契約) "2":VALUX (ホームユース契約) "21":ANSER-SPC回線
9	貸越限度額	N(11)	マイナス値の場合は、「-」を含めた12桁を出力可能です。
10	CR/LF	C(2)	改行コード

2. 親口座・子口座・通知預金口座 取込フォーマット (CSV/タブ区切り)

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	口座コード	C(12)		口座を管理するためのコードを入力します。 コードを重複して登録することはできません。お客さまが管理しやすいように、任意の番号を付番してください。 ※[口座コードが同一のデータは上書きで取り込む]にチェックを付けた場合、同一の口座コードをもつ口座情報がすでに登録されていれば上書きで取り込みます。チェックを付けない場合は、新たにコードが自動付番され別の口座として登録されます。 ※省略または「0」を指定した場合は、システムが自動付番したコードがセットされます。
2	口座の説明	C(30)	○	口座の種類や使用用途など、どの口座情報であるか判別がつくよう任意の説明を入力します。
3	銀行コード	N(4)	○	口座のある銀行の銀行コードを入力します。
4	支店コード	N(3)	△	口座のある銀行の支店コードを入力します。 番号方式が「口座番号方式」の銀行の場合は入力必須項目です。
5	預金種目	N(1)	△	“1”:普通預金 “2”:当座預金 “4”:貯蓄預金 “5”:通知預金 “9”:その他 番号方式が「口座番号方式」の銀行の場合は入力必須項目です。
6	口座番号	C(7)	△	番号方式が「口座番号方式」の銀行の場合は入力必須項目です。
7	加入者番号	C(12)	△	番号方式が「加入者番号方式」の銀行の場合は入力必須項目です。
8	通信方式	N(2)	○	“1”:VALUX (SPC契約) “2”:VALUX (ホームユース契約) “21”:ANSER-SPC回線
9	貸越限度額	N(11)		マイナス値の場合は、「-」を含めた12桁を取込可能です。
10	照会用暗証番号	N(4)		1~3桁は取込不可です。
11	照会用暗証番号 (SC7300)	N(4)		1~3桁は取込不可です。
12	振込振替暗証番号	C(9)		1~3桁は取込不可です。省略した場合は、「都度入力」として登録されます。
13	承認暗証番号	C(5)		省略した場合は、「登録なし」として登録されます。
14	CR/LF	C(2)	○	改行コード

3. 入金先口座（都度指定） 出力フォーマット(CSV/タブ区切り)

項番	項目名	桁数	内容
1	口座コード	C(12)	
2	口座の説明	C(30)	
3	口座名(カナ)	C(30)	
4	銀行コード	N(4)	
5	支店コード	N(3)	
6	預金種目	N(1)	"1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
7	口座番号	C(7)	

4. 入金先口座（都度指定） 取込フォーマット (CSV/タブ区切り)

[導入処理]-[入金先登録（都度指定）]メニューの[取り込み条件設定]画面で、取込フォーマットの項目が存在する列番号を指定します。

項目名	桁数	必須	内容
口座コード	C(12)		<p>口座を管理するためのコードを入力します。 コードを重複して登録することはできません。お客さまが管理しやすいように、任意の番号を付番してください。 ※[口座コードが同一のデータは上書きで取り込む]にチェックを付けた場合、同一の口座コードをもつ口座情報がすでに登録されていれば上書きで取り込みます。 チェックを付けない場合は、新たにコードが自動付番され別の口座として登録されます。 ※省略または「0」を指定した場合は、システムが自動付番したコードがセットされます。</p>
口座の説明	C(30)	○	口座の種類や使用用途など、どの口座情報であるか判別がつくよう任意の説明を入力します。
口座名(カナ)	C(30)		入金先口座の口座名(カナ)を入力します。
銀行コード	N(4)	○	口座のある銀行の銀行コードを入力します。
支店コード	N(3)	○	口座のある銀行の支店コードを入力します。
預金種目	N(1)	○	<p>入金先口座の預金種目を入力します。 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他</p>
口座番号	C(7)	○	入金先口座の口座番号を入力します。

5. 資金移動パターン 取込フォーマット (CSV/タブ区切り)

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	口座区分	N(1)	○	資金移動パターンとして取り込む口座の口座区分を入力します。 "1":親口座 "2":子口座
2	口座コード	N(12)	○	資金移動パターンとして取り込む口座の口座コードを入力します。
3	受取人番号(集中)	C(12)		資金集中(子口座から親口座への資金移動)時に使用する受取人番号を入力します。
4	受取人番号(配分)	C(12)		資金配分(親口座から子口座への資金移動)時に使用する受取人番号を入力します。
5	CR/LF	C(2)	○	改行コード

※親口座の次の行に、親口座に紐付く子口座を入力します。

【例】

親口座Aに子口座aと子口座bが、親口座Bに子口座cが紐づいている資金移動パターンを取り込む場合の形式は、以下の通りです。

```

1,000000000001,"", ""           : 親口座 A
2,000000001001,"001","001"       : 子口座 a
2,000000001002,"001","002"       : 子口座 b
1,000000000002,"", ""           : 親口座 B
2,000000001003,"001","001"       : 子口座 c
    
```

6. 資金移動結果ファイル(CSV)

※ SPC/HUフォーマットとHUフォーマットとの違いは、「項番29. 振込メッセージ」が追加されている部分です。

項番	項目名	桁数	引用符	口座情報登録データ使用	SPC/HUフォーマット	内容
1	処理実行日付	N(8)	あり	×		"YYYYMMDD":(西暦) 振込振替結果日付
2	指定日	N(4)	あり	×		"MMDD":翌営業日扱いが"3"のとき出力
3	入払区分	N(1)	あり	×		"1":入金(集中) "2":出金(配分)
4	取引金額	N(11)	-	×		移動金額
5	振込手数料区分	N(1)	あり	×		"1":税込手数料 "2":手数料後払 "3":手数料 "4":料金相手払 "5":税抜手数料 "0":なし
6	振込手数料	N(5)	-	×		手数料
7	翌営業日扱い	N(1)	あり	×		"1":当日扱い "2":翌営業日扱い "3":指定日扱い
8	受付番号	C(8)	あり	×		受付番号
9	子口座コード	N(4)~(12)	あり	○		"9999"~"999999999999":子口座コード
10	子口座の説明	C(30)	あり	○		子口座の口座名
11	子口座銀行コード	N(4)	あり	○		子口座の銀行コード
12	子口座銀行名	C(30)	あり	○		子口座の銀行名
13	子口座支店コード	N(3)	あり	○		子口座の支店コード
14	子口座支店名	C(30)	あり	○		子口座の支店名
15	子口座番号方式	N(1)	あり	○		"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
16	子口座預金種目	N(1)	あり	○		子口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
17	子口座預金種目口座番号	N(9)	あり	○		子口座の預金種目口座番号
18	子口座加入者番号	N(12)	あり	○		子口座の加入者番号 番号方式が"2"のとき出力
19	親口座コード	N(4)~(12)	あり	○		"9999"~"999999999999":親口座コード
20	親口座の説明	C(30)	あり	○		親口座の口座名
21	親口座銀行コード	N(4)	あり	○		親口座の銀行コード
22	親口座銀行名	C(30)	あり	○		親口座の銀行名
23	親口座支店コード	N(3)	あり	○		親口座の支店コード
24	親口座支店名	C(30)	あり	○		親口座の支店名
25	親口座番号方式	N(1)	あり	○		"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
26	親口座預金種目	N(1)	あり	○		親口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
27	親口座預金種目口座番号	N(9)	あり	○		親口座の預金種目口座番号
28	親口座加入者番号	N(12)	あり	○		親口座の加入者番号 番号方式が"2"のとき出力
29	振込メッセージ	C(20)	あり	×	○	振込メッセージ
30	CR/LF	C(2)				改行コード

7. 資金移動結果ファイル(全銀形式)HUフォーマット

1口座でも資金移動を行ったデータがあれば、資金移動データから資金移動結果ファイルに変換して、出力します。

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"01":振込振替データ(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	作成日	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦)振込振替結果日付
5	パターンコード	N(3)	×	パターンコード
6	パターン名	C(32)	×	パターン名
7	親口座コード	N(4)~(12)	○	"9999"~"999999999999":親口座コード
8	親口座の説明	C(40)	○	親口座の口座名
9	銀行コード	N(4)	○	親口座の銀行コード
10	銀行名	C(15)	○	親口座の銀行名
11	支店コード	N(3)	○	親口座の支店コード
12	支店名	C(15)	○	親口座の支店名
13	番号方式	N(1)	○	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
14	預金種目	N(1)	○	親口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
15	預金種目口座番号 *-1	N(9)	○	親口座の預金種目口座番号
16	加入者番号 *-1	N(12)	○	親口座の加入者番号 番号方式が"2"のとき出力
17	ダミー	C(49)~(41)	×	スペース
18	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	処理実行日付	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦)振込振替結果日付
3	指定日	C(8)	×	"MM月DD日":翌営業日扱いが"3"のとき出力
4	入払区分	N(1)	×	"1":入金(集中) "2":出金(配分)
5	取引金額 *-2	N(11)	×	移動金額
6	振込手数料区分	N(1)	×	"1":税込手数料 "2":手数料後払 "3":手数料 "4":料金相手払 "5":税抜手数料 "0":なし
7	振込手数料	N(5)	×	手数料
8	翌営業日扱い	N(1)	×	"1":当日扱い "2":翌営業日扱い "3":指定日扱い
9	受付番号	C(8)	×	受付番号
10	子口座コード	N(4)~(12)	○	"9999"~"999999999999":子口座コード
11	子口座の説明	C(40)	○	子口座の口座名
12	銀行コード	N(4)	○	子口座の銀行コード
13	銀行名	C(15)	○	子口座の銀行名
14	支店コード	N(3)	○	子口座の支店コード
15	支店名	C(15)	○	子口座の支店名
16	番号方式	N(1)	○	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
17	預金種目	N(1)	○	子口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
18	預金種目口座番号 *-1	N(9)	○	子口座の預金種目口座番号
19	加入者番号	N(12)	○	子口座の加入者番号 番号方式が"2"のとき出力
20	ダミー	C(52)~(44)	×	スペース
21	CR/LF	C(2)		改行コード

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	入金件数	N(6)	×	入払区分が"1"のデータレコード件数
3	入金額合計	N(14)	×	データレコードの入払区分が"1"の合計金額
4	出金件数	N(6)	×	入払区分が"2"のデータレコード件数
5	出金額合計	N(14)	×	データレコードの入払区分が"2"の合計金額
6	データレコード件数	N(7)	×	データレコードの合計件数
7	ダミー	C(152)	×	スペース
8	CR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	レコード総件数	N(10)	×	ファイルの全レコード数(エンドレコードを含む)
3	口座数	N(5)	×	ファイル内のヘッダレコード数
4	ダミー	C(184)	×	スペース
5	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 各項目の桁数になるまで左詰め後ろ半角スペース。

*-2 11桁になるまで右詰め残り前半角スペース。

8. 資金移動結果ファイル(全銀形式)SPC/HUフォーマット

【ヘッダレコード】
HUフォーマットと同様

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	処理実行日付	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦) 振込振替結果日付
3	指定日	C(8)	×	"MM月DD日":翌営業日扱いが"3"のとき出力
4	入払区分	N(1)	×	"1":入金(集中) "2":出金(配分)
5	取引金額 *-1	N(11)	×	移動金額
6	振込手数料区分	N(1)	×	"1":税込手数料 "2":手数料後払 "3":手数料 "4":料金相手払 "5":税抜手数料 "0":なし
7	振込手数料	N(5)	×	手数料
8	翌営業日扱い	N(1)	×	"1":当日扱い "2":翌営業日扱い "3":指定日扱い
9	受付番号	C(8)		受付番号
10	子口座コード	N(4)~(12)	○	"9999"~"999999999999":子口座コード
11	子口座の説明	C(40)	○	子口座の口座名
12	銀行コード	N(4)	○	子口座の銀行コード
13	銀行名	C(15)	○	子口座の銀行名
14	支店コード	N(3)	○	子口座の支店コード
15	支店名	C(15)	○	子口座の支店名
16	番号方式	N(1)	○	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
17	預金種目	N(1)	○	子口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
18	預金種目口座番号 *-2	N(9)	○	子口座の預金種目口座番号
19	加入者番号	N(12)	○	子口座の加入者番号 番号方式が"2"のとき出力
20	振込メッセージ	C(20)	×	振込メッセージ
21	ダミー	C(32)~(24)	×	スペース
22	CR/LF	C(2)		改行コード

【トレーラレコード】
HUフォーマットと同様

【エンドレコード】
HUフォーマットと同様

*-1 11桁になるまで右詰め残り前半角スペース。

*-2 9桁になるまで左詰め後ろ半角スペース。

9. 資金移動結果ファイル(FD形式)

親口座をヘッダレコード、子口座をデータレコードとしてシングルヘッダのファイルを出力します。

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"01":サマリーデータ
3	データ作成日	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦) 出力時の年月日
4	データ作成時間	N(6)	×	"HHMMSS":(24時間表示) 出力時の時分秒
5	パターンコード	N(2)	×	パターンコード ※元3桁の為桁落ちの場合は右詰め左より1桁切り捨て
6	パターン名	C(30)	×	パターン名 ※元32桁の為桁落ちの場合は左詰め右より2桁切り捨て
7	親口座コード	N(12)	○	親口座の口座コード
8	親口座の説明	C(30)	○	親口座の口座名
9	親・子区分	N(1)	○	"1":親口座
10	銀行コード	N(4)	○	親口座の銀行コード
11	銀行名	C(30)	○	親口座の銀行名
12	支店コード	N(3)	○	親口座の支店コード
13	支店名	C(30)	○	親口座の支店名
14	番号方式	N(1)	○	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
15	預金種目	N(1)	○	親口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
16	預金種目口座番号	C(12)	○	親口座の預金種目口座番号
17	加入者番号	C(12)	○	親口座の加入者番号 番号方式が"2"のとき出力
18	ダミー	C(69)	×	スペース
19	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	処理実行日付	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦) 振込振替結果日付
3	処理実行時間	N(6)	×	"HHMMSS":(24時間表示) 振込振替結果時間
4	入払区分	N(1)	×	"1":入金(配分または調整) "2":出金(集中または調整)
5	取引金額	N(15)	×	移動金額
6	振込手数料 *-1	N(4)	×	手数料 ※元5桁の為桁落ち有 ※返却されない場合はスペース
7	翌営業日扱い	C(1)	×	"1":当日扱い "2":翌営業日扱い
8	受付番号 *-2	N(10)	×	受付番号
9	子口座コード	N(12)	○	子口座の口座コード
10	子口座の説明	C(30)	○	子口座の口座名
11	銀行コード	N(4)	○	子口座の銀行コード
12	銀行名	C(30)	○	子口座の銀行名
13	支店コード	N(3)	○	子口座の支店コード
14	支店名	C(30)	○	子口座の支店名
15	預金種目	N(1)	○	子口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
16	預金種目口座番号	C(12)	○	子口座の預金種目口座番号
17	ダミー	C(86)	×	スペース
18	CR/LF	C(2)		改行コード

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	入金件数	N(6)	×	入払区分が"1"のデータレコード件数
3	入金額合計	N(15)	×	データレコードの入払区分が"1"の合計金額
4	出金件数	N(6)	×	入払区分が"2"のデータレコード件数
5	出金額合計	N(15)	×	データレコードの入払区分が"2"の合計金額
6	データレコード件数	N(6)	×	データレコードの総件数
7	ダミー	C(205)	×	スペース
8	CR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	レコード総件数	N(6)	×	ファイルの全レコード数(エンドレコードを含む)
3	口座数	N(6)	×	データレコードの合計数
4	ダミー	C(241)	×	スペース
5	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 4桁になるまで右詰め残り前0。

*-2 10桁になるまで左詰め後ろ半角スペース。

10. 資金移動結果ファイル(伝票作成形式)

親口座、子口座単位で1ヘッダとしてマルチヘッダのファイルを出力します。

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"01":サマリーデータ
3	データ作成日	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦) 出力時の年月日
4	データ作成時間	N(6)	×	"HHMMSS":(24時間表示) 出力時の時分秒
5	パターンコード	N(2)	×	パターンコード ※元3桁の為桁落ちの場合は右詰め左より1桁切り捨て
6	パターン名	C(30)	×	パターン名 ※元32桁の為桁落ちの場合は左詰め右より2桁切り捨て
7	口座コード	N(12)	○	対象口座の口座コード
8	口座の説明	C(30)	○	対象口座の口座名
9	親・子区分	N(1)	○	"1":親口座 "2":子口座
10	銀行コード	N(4)	○	対象口座の銀行コード
11	銀行名	C(30)	○	対象口座の銀行名
12	支店コード	N(3)	○	対象口座の支店コード
13	支店名	C(30)	○	対象口座の支店名
14	番号方式	N(1)	○	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
15	預金種目	N(1)	○	対象口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
16	預金種目口座番号	C(12)	○	対象口座の預金種目口座番号
17	加入者番号	C(12)	○	対象口座の加入者番号 番号方式が"2"のとき出力
18	ダミー	C(69)	×	スペース
19	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	処理実行日付	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦) 振込振替結果日付
3	処理実行時間	N(6)	×	"HHMMSS":(24時間表示) 振込振替結果時間
4	入払区分 *-1	N(1)	×	"1":入金(集中) "2":出金(配分)
5	取引金額	N(15)	×	移動金額
6	振込手数料 *-5	N(4)	×	手数料 ※元5桁の為桁落ち有 ※返却されない場合はスペース
7	翌営業日扱い	C(1)	×	"1":当日扱い "2":翌営業日扱い
8	受付番号 *-6	N(10)	×	受付番号
9	口座コード	N(12)	○	対象口座の口座コード
10	口座の説明	C(30)	○	対象口座の口座名
11	銀行コード	N(4)	○	対象口座の銀行コード
12	銀行名	C(30)	○	対象口座の銀行名
13	支店コード	N(3)	○	対象口座の支店コード
14	支店名	C(30)	○	対象口座の支店名
15	預金種目	N(1)	○	対象口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
16	預金種目口座番号	C(12)	○	対象口座の預金種目口座番号
17	ダミー	C(86)	×	スペース
18	CR/LF	C(2)		改行コード

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	入金件数 *-2	N(6)	×	入払区分が"1"のデータレコード件数
3	入金額合計	N(15)	×	データレコードの入払区分が"1"の合計金額
4	出金件数 *-2	N(6)	×	入払区分が"2"のデータレコード件数
5	出金額合計	N(15)	×	データレコードの入払区分が"2"の合計金額
6	データレコード件数 *-3	N(6)	×	データレコードの合計件数
7	ダミー	C(205)	×	スペース
8	CR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	レコード総件数	N(6)	×	ファイルの全レコード数(エンドレコードを含む)
3	口座数 *-4	N(6)	×	口座の合計数
4	ダミー	C(241)	×	スペース
5	CR/LF	C(2)		改行コード

- *-1 データレコード対象口座が子口座の場合
集中は入金(入払区分"1")、配分は出金(入払区分"2")となります。
データレコード対象口座が親口座の場合
集中は出金(入払区分"2")、配分は入金(入払区分"1")となります。
- *-2 ヘッダレコード毎の入金(または出金)データレコードの件数となります。
- *-3 ヘッダレコード毎のデータレコード件数となります。
- *-4 実質の口座数となります。同じ口座はカウントしません。
- *-5 4桁になるまで右詰め残り前0。
- *-6 10桁になるまで左詰め後ろ半角スペース。

11. 資金移動結果(配分)ファイル(全銀形式 [総合振込])

資金配分の結果を出力します。

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"21":総合振込(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	親口座コード	N(10)	○	※元12桁の為桁落ち有
5	親口座の説明	C(40)	○	親口座の説明
6	取組日	N(4)	×	振込指定日(MMDD) 指定日がない場合は通信実行日
7	銀行コード	N(4)	○	親口座の銀行コード
8	銀行名	C(15)	○	親口座の銀行名カナ
9	支店コード	N(3)	○	親口座の支店コード
10	支店名	C(15)	○	親口座の支店名カナ
11	預金種目	N(1)	○	親口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
12	口座番号	N(7)	○	親口座の口座番号
13	ダミー	C(17)	×	スペース
14	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	銀行コード	N(4)	○	子口座の銀行コード
3	銀行名	C(15)	○	子口座の銀行名カナ
4	支店コード	N(3)	○	子口座の支店コード
5	支店名	C(15)	○	子口座の支店名カナ
6	手形交換所番号	N(4)	×	"0000"(固定)
7	預金種目	N(1)	○	子口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
8	口座番号	N(7)	○	子口座の口座番号
9	受取人名	C(30)	○	子口座の説明
10	振込金額	N(10)	×	※元11桁の為桁落ち有
11	新規コード	N(1)	×	"0":その他(固定)
12	顧客コード1	N(10)	○	子口座の口座コード ※元12桁の為桁落ち有
13	顧客コード2	N(10)	×	
14	振込指定区分	N(1)	×	"7":テレ振込(固定)
15	識別表示	C(1)	×	スペース
16	CR/LF	C(2)		改行コード

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	合計件数	N(6)	×	データレコードの合計金額
3	合計金額	N(12)	×	データレコードの合計金額
4	ダミー	C(101)	×	スペース
5	CR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	ダミー	C(119)	×	スペース
3	CR/LF	C(2)		改行コード

12. 残高照会結果ファイル(CSV)

1パターン単位でのファイルとして出力します。

項番	項目名	桁数	引用符	口座情報登録データ使用	内容
1	処理実行日付	N(8)	あり	×	"YYYYMMDD":(西暦)残高照会結果日付
2	口座コード	N(4)~(12)	あり	○	"9999"~"999999999999":取引口座の口座コード
3	口座名	C(30)	あり	○	取引口座の口座名
4	口座区分	N(1)	あり	○	"1":親口座 "2":子口座 "3":通知預金口座
5	銀行コード	N(4)	あり	○	取引口座の銀行コード
6	銀行名	C(30)	あり	○	取引口座の銀行名
7	支店コード	N(3)	あり	○	取引口座の支店コード
8	支店名	C(30)	あり	○	取引口座の支店名
9	番号方式	N(1)	あり	○	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
10	預金種目	N(1)	あり	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "5":通知預金 "9":その他
11	預金種目口座番号	N(9)	あり	○	取引口座の預金種目口座番号
12	加入者番号	N(12)	あり	○	取引口座の加入者番号 番号方式が"2"のとき出力
13	当日・前日区分	N(1)	あり	×	"1":当日残高照会 "2":前日残高照会 "3":前月末残高照会
14	預金残高区分	N(1)	あり	×	"1":預金残高 "2":融資残高 "3":貸越残高 "4":残高、貯金残高
15	預金残高	N(12)	-	×	預金残高(マイナス値も含む)
16	引出可能金額区分	N(1)	あり	×	"0":スペース "1":引出可能金額 "2":残高中小切手 "3":残高中他店券
17	引出可能金額	N(11)	-	×	引出可能金額
18	他店券残高	N(11)	-	×	引出可能金額区分が、"2" "3"のとき出力
19	支払可能金額	N(13)	-	×	算出した支払可能金額を出力(マイナス値も含む)
20	CR/LF	C(2)			改行コード

13. 残高照会結果ファイル(全銀形式)

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"04":残高通知(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	作成日	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦) 残高照会結果日付
5	パターンコード	N(3)	×	パターンコード
6	パターン名	C(32)	×	パターン名
7	ダミー	C(153)	×	スペース
8	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	処理実行日付	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦) 残高照会結果日付
3	口座コード	N(4)~(12)	○	"9999"~"999999999999":取引口座の口座コード
4	口座の説明	C(40)	○	取引口座の口座名
5	口座区分	N(1)	○	"1":親口座 "2":子口座 "3":通知預金口座
6	銀行コード	N(4)	○	取引口座の銀行コード
7	銀行名	C(15)	○	取引口座の銀行名
8	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード
9	支店名	N(15)	○	取引口座の支店名
10	番号方式	N(1)	○	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
11	預金種目	N(1)	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "5":通知預金 "9":その他
12	預金種目口座番号	N(9)	○	取引口座の預金種目口座番号
13	加入者番号 *-1	N(12)	○	取引口座の加入者番号 番号方式が"2"のとき出力
14	当日・前日区分	N(1)	×	"1":当日残高照会 "2":前日残高照会 "3":前月末残高照会
15	預金残高区分	N(1)	×	"1":預金残高 "2":融資残高 "3":貸越残高 "4":残高、貯金残高
16	預金残高符号	C(1)	×	"1":+(プラス) "2":-(マイナス) 金額が「0」の場合は"1"を出力
17	預金残高	N(15)	×	残高照会の預金残高 絶対値
18	引出可能金額区分	N(1)	×	"0":スペース "1":引出可能金額 "2":残高中小切手 "3":残高中他店券
19	引出可能金額	N(15)	×	残高照会の引出可能金額
20	他店券残高	N(15)	×	残高照会の残高中小切手、残高中他店券
21	支払可能金額符号	C(1)	×	"1":+(プラス) "2":-(マイナス) 金額が「0」の場合は"1"を出力
22	支払可能金額	N(15)	×	算出した支払可能金額 絶対値
23	ダミー	C(21)~(13)	×	スペース
24	CR/LF	C(2)		改行コード

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	データレコード件数	N(7)	×	データレコードの合計件数
3	ダミー	C(192)	×	スペース
4	CR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	レコード総件数	N(10)	×	ファイルの全レコード数(エンドレコードを含む)
3	口座数	N(5)	×	ファイル内のヘッダレコード数
4	ダミー	C(184)	×	スペース
5	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 12桁になるまで左詰め後ろ半角スペース。

14. 残高照会結果ファイル(バンキング・マネージャー形式)

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"04":残高通知(固定)
3	通知区分	N(1)	×	"1":預金(固定)
4	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
5	作成日	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 出力時点の日付
6	会社コード	N(10)	×	スペース
7	口座の説明	C(40)	○	取引口座の口座名
8	銀行コード	N(4)	○	取引口座の銀行コード
9	銀行名	C(15)	○	取引口座の銀行名カナ
10	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード
11	支店名	C(15)	○	取引口座の支店名カナ
12	ダミー	C(102)	×	スペース
13	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容	
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)	
2	基準日	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 残高照会結果日付 エラー・未処理の場合はスペース	
3	基準時刻	N(4)	×	"HHMM":(24時間表示) 残高照会結果時刻 エラー・未処理の場合はスペース	
4	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード	
5	ダミー	N(3)	×	スペース	
6	預金種目	N(1)	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "5":通知預金 "9":その他	
7	口座番号	N(10)	○	取引口座の口座番号	
8	口数	N(4)	×	スペース	
9	口座名	C(40)	×	スペース	
10	現在残高	貸越区分	N(1)	×	"1":プラス "2":マイナス 金額の値より判定 金額が「0」の場合は"1"を出力 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース
		残高	N(14)	×	当日残高 SC:1000/1100の場合に絶対値を出力 SC:1200/1300の場合はスペース エラー・未処理の場合はスペース
11	他店券残高	N(14)	×	残高中小切手金額/残高中他店券金額 SC:1000/1100の場合に出力 SC:1200/1300の場合はスペース エラー・未処理の場合はスペース	
12	貸越限度額 *-1	N(14)	○	取引口座の貸越限度額 貸越限度額を登録している場合に出力 マスターに未登録時とエラー・未処理の場合はスペース マイナス値の出力を許容する	
13	資金移動基準残高	貸越区分	N(1)	×	"1":プラス 金額が「0」またはマイナス値の場合は"1"を出力 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース
		残高	N(14)	×	[導入処理]-[運用設定]メニューの【資金移動】「基準残高の計算方法」に基づいて算出 SC:1100/1200の場合に絶対値を出力 SC:1000/1300の場合はスペース エラー・未処理の場合はスペース マイナス値はオール「0」を出力
14	前日残高	貸越区分	N(1)	×	"1":プラス "2":マイナス 金額の値より判定 金額が「0」の場合は"1"を出力 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース
		残高	N(14)	×	前日残高 SC:1000/1200の場合に絶対値を出力 SC:1100/1300の場合はスペース エラー・未処理の場合はスペース
15	最新取引日	N(6)	×	スペース	
16	ダミー	C(49)	×	スペース	
17	CR/LF	C(2)		改行コード	

*-1 マスターの貸越限度額の正負により以下のように出力します。

例) マスターの貸越限度額が「2,500,000円」の場合
「0000002500000」 14バイトまで右詰め前0

マスターの貸越限度額が「-2,500,000円」の場合
「-2500000」 14バイトまで左詰め残リスペース

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	データレコード件数	N(7)	×	データレコードの合計件数
3	ダミー	C(192)	×	スペース
4	CR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	レコード総件数	N(10)	×	ファイルの全レコード数(エンドレコード含む)
3	ダミー	C(189)	×	スペース
4	CR/LF	C(2)		改行コード

15. 残高照会結果ファイル(バランス・マネージャー形式)

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"02":種別コード(固定)
3	作成日	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦)出力時点の日付
4	作成時刻	N(6)	×	"HHMMSS":(24時間表示)出力時点の時刻
5	パターンコード	N(2)	○	パターンコード ※元3桁の為桁落ち
6	パターン名	C(30)	○	パターン名 ※元32桁の為桁落ち
7	口座コード	N(12)	○	該当口座の口座コード
8	口座の説明	C(30)	○	該当口座の口座の説明
9	ダミー	C(1)		スペース
10	銀行コード	N(4)	○	該当口座の銀行コード
11	銀行名	C(30)	○	該当口座の銀行名カナ
12	支店コード	N(3)	○	該当口座の支店コード 加入者番号方式でマスターに未登録時はスペース
13	支店名	C(30)	○	該当口座の支店名カナ 加入者番号方式でマスターに未登録時はスペース
14	番号方式	N(1)	○	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
15	預金種目	N(1)	○	預金種目を出力 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "5":通知預金 "9":その他
16	預金種目口座番号 *-1	N(12)	○	口座番号方式の場合、預金種目と口座番号を出力 加入者番号方式の場合、口座番号を出力
17	加入者番号 *-1	N(12)	○	加入者番号方式の場合、加入者番号を出力 口座番号方式の場合はスペース
18	ダミー	C(71)	×	スペース
19	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】 ※ 出力データが「当日のみ」

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	処理実行日付	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦)残高照会結果日付 エラー・未処理の場合はスペース
3	処理実行時刻	N(6)	×	"HHMMSS":(24時間表示)残高照会結果時刻 エラー・未処理の場合はスペース
4	貸越区分	N(1)	×	"1":プラス "2":マイナス 金額の値より判定 金額が「0」の場合は"1"を出力 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース
5	現在残高	N(15)	×	当日残高 SC:1000/1100の場合に絶対値を出力 SC:1200/1300の場合はスペース 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース
6	資金移動基準残高	N(15)	×	[導入処理]-[運用設定]メニューの【資金移動】「基準残高の計算方法」に基づいて算出 SC:1100の場合に出力 SC:1000/1200/1300の場合はスペース 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース マイナス値はオール「0」を出力
7	他店券残高	N(15)	×	残高中小切手金額/残高中他店券金額 SC:1000/1100の場合に出力 SC:1200/1300の場合はスペース 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース
8	ダミー	C(195)	×	スペース
9	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】 ※ 出力データが「前日のみ」

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容	
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)	
2	処理実行日付	N(8)	×	"YYYYMMDD":(西暦) 残高照会結果日付 エラー・未処理の場合はスペース	
3	処理実行時刻	N(6)	×	"HHMMSS":(24時間表示) 残高照会結果時刻 エラー・未処理の場合はスペース	
4	前日残高	貸越区分	N(1)	×	"1":プラス "2":マイナス 金額の値より判定 金額が「0」の場合は"1"を出力 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース
5		残高	N(15)	×	前日残高 SC:1000/1200の場合に絶対値を出力 SC:1100/1300の場合はスペース 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース
6	資金移動基準残高	N(15)	×	[導入処理]-[運用設定]メニューの【資金移動】「基準残高の計算方法」に基づいて算出 SC:1200の場合に出力 SC:1000/1100/1300の場合はスペース 金額を出力しない場合、エラー・未処理の場合はスペース マイナス値はオール「0」を出力	
7	他店券残高	N(15)	×	スペース	
8	ダミー	C(195)	×	スペース	
9	CR/LF	C(2)		改行コード	

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	データレコード総件数	N(6)	×	データレコードの合計件数
3	ダミー	C(249)	×	スペース
4	CR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	レコード総件数	N(6)	×	ファイルの全レコード数(エンドレコード含む)
3	口座総件数	N(6)	×	重複する口座はカウントしない 口座番号方式:銀行コード、支店コード、預金種目、口座番号が一致する口座情報を同一口座とみなす 加入者番号方式:支店コード、預金種目、口座番号がすべて登録されている場合は口座番号方式と同様で、いずれかが未登録の場合、銀行コードと加入者番号が一致する口座情報を同一口座とみなす
4	ダミー	C(243)	×	スペース
5	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 12桁になるまで左詰め後ろ半角スペース。

16. 振入金照会結果ファイル(CSV)

※ SPC/HUフォーマットとHUフォーマットとの違いは、「項番18.小切手区分」、「項番19.振込メッセージ」が追加されている部分です。

項番	項目名	桁数	引用符	口座情報登録 データ使用	SPC/HU フォーマット	内容
1	口座コード	N(4)~(12)	あり	○		"9999"~"999999999999":取引口座の口座コード
2	口座名	C(30)	あり	○		取引口座の口座名
3	銀行コード	N(4)	あり	○		取引口座の銀行コード
4	銀行名	C(30)	あり	○		取引口座の銀行名 漢字またはカナ
5	支店コード	N(3)	あり	○		取引口座の支店コード
6	支店名	C(30)	あり	○		取引口座の支店名 漢字またはカナ
7	預金種目	N(1)	あり	○		取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
8	預金種目口座番号	N(9)	あり	○		取引口座の預金種目口座番号
9	取引番号	C(4)	あり	×		取引番号 HU手順:"X99" SPC手順:"9999"
10	取扱日付 *-1	C(8)	あり	×		"MM月DD日":明細の取扱日付
11	起算日 *-2	C(8)	あり	×		"MM月DD日":明細の起算日
12	取引区分	N(1)	あり	×		"5":振込(固定)
13	明細区分	N(1)	あり	×		"0":通常明細 "1":取消明細 欠番は「0」
14	取引金額	N(12)	-	×		取引金額(マイナス金額含む)
15	摘要内容	C(48)	あり	×		摘要内容
16	仕向銀行名	C(15)	あり	×		仕向銀行名
17	仕向支店名	C(15)	あり	×		仕向支店名
18	小切手区分	C(8)	あり	×	○	"他券振込" "振込"
19	振込メッセージ	C(20)	あり	×	○	振込メッセージ
20	CR/LF	C(2)				改行コード

*-1 取扱日付は、月日省略や月省略の場合があります。
 その際、ANSER出力情報そのままの形でファイル出力されます。
 " 4月10日分" → " 4月10日" : 年は出力されない
 " 29日分" → " 29日" : 日のみで、月を省略
 " " → " " : 月日を省略

*-2 起算日は、月日省略や月省略の場合があります。
 その際、ANSER出力情報そのままの形でファイル出力されます。
 " 4月10日扱い" → " 4月10日" : 年は出力されない
 " 29日扱い" → " 29日" : 日のみで、月を省略
 " " → " " : 月日を省略

17. 振入金照会結果ファイル(全銀形式)HUフォーマット

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"01":振入金通知(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	作成日	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)振入金照会結果日付 例)"250205"
5	勘定日(自)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)先頭データレコードのANSER起算日
6	勘定日(至)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)最終データレコードのANSER起算日
7	銀行コード	N(4)	○	取引口座の銀行コード
8	銀行名	C(15)	○	取引口座の銀行名 漢字またはカナ
9	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード
10	支店名	C(15)	○	取引口座の支店名 漢字またはカナ
11	預金種目	N(1)	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
12	口座番号 *-2	N(7)	○	ANSER取得値または口座マスター設定値
13	口座名	C(40)	○	取引口座の口座名
14	ダミー	C(89)	×	スペース
15	ARS取扱日付 *-3	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付の中で最新日付
16	CR/LF	C(2)		改行コード

- *-1 勘定日(YYMMDD)は、ANSERの起算日(MMDD)に対応します。
自/至は、受信順の先頭/最終の明細に対応します。
全省略時は、全桁"0"が設定されます。それ以外は1カ月以内で補完します。
"4月10日" → "250410" : 年は本来出力されない
"29日" → "250329" : 日のみで、月を省略
" " → "000000" : 月日を省略
- *-2 明細に口座番号が出力される場合は、先頭明細から順に口座番号を検索し、最初に取得した口座番号が設定されます。最大12桁の下7桁右詰め。
明細に出力されない場合は、口座情報マスター設定値の7桁。
- *-3 起算日と同様に、出力省略の場合があります。
各明細の取扱日付の中の最新日付となります。
全省略時は、全桁"0"を設定します。それ以外は1カ月以内で補完します。
"4月10日" → "0410"
"29日" → "0329" : 日のみで、月を省略
" " → "0000" : 取扱日付を省略

【データレコード】 ※フォーマットA

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	照会番号 *-1	N(6)	×	ANSERの取引番号
3	勘定日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)ANSERの起算日
4	起算日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)ANSERの起算日
5	金額	N(10)	×	絶対値 ※元12桁の為桁落ち有
6	うち他店券金額 *-3	N(10)	×	小切手区分が「小切手」または「他店券」の場合、金額と同じ値を出力 それ以外はスペース
7	振込依頼人コード	N(10)	×	スペース(固定)
8	振込依頼人名	C(48)	×	振込人名
9	仕向銀行名	C(15)	×	仕向銀行名
10	仕向支店名	C(15)	×	仕向支店名
11	取消区分	N(1)	×	明細区分「取消」、または金額がマイナス値の場合"1" 他はスペース
12	ARS取扱日付 *-4	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付
13	日付 *-5	N(4)	×	"MMDD":明細の起算日→取扱日付→指定日→処理日付
14	ダミー	C(62)	×	スペース
15	ARS取引区分	N(1)	×	"5":振込(固定)
16	ARS金額区分	C(1)	×	"1":プラス "2":マイナス 金額の値より判定
17	CR/LF	C(2)		改行コード

- *-1 照会番号は、ANSERの取引番号に対応します。
明細区分が欠番、または明細区分が取消かつ金額が返却されない場合は、データレコードとして出力しません。
跳び番号が発生します。
ANSERの取引番号は、X99の形式で出力されます。全銀に対応するため数値に変換します。
例) A99→1099 B99→1199 . . . Z99→3599
- *-2 勘定日と起算日(YMMDD)は同一とし、ANSERの起算日(MMDD)に対応します。
全省略時は、全桁"0"を設定します。それ以外は1カ月以内で補完します。
" 4月10日扱い" → "250410" : 年は本来出力されない
" 29日扱い" → "250329" : 日のみで、月を省略
" " → "000000" : 月日を省略
- *-3 小切手区分に「小切手」または「他店券」がセットされた場合、金額と同じ値を出力します。
- *-4 ARS取扱日付は、月日省略や月省略場合があります。
その際、ANSER出力情報そのままの形でファイル出力されます。全省略時は、全桁"0"を設定します。
" 4月10日分" → "0410" : 年は出力されない
" 29日分" → "0029" : 日のみで、月を省略
" " → "0000" : 月日を省略
- *-5 ANSER受信画面から優先順位に従い、日付フィールドに設定します。
第1優先:起算日
第2優先:ARS取扱日付
第3優先:指定日
第4優先:入出金照会結果日付
ARS取扱日付および起算日は、月日省略や月省略場合があります。
その際、ANSER出力情報そのままの形でファイル出力します。
" 4月10日分" → "0410" : 年は出力されない
" 29日分" → "0029" : 日のみで、月を省略

【データレコード】 ※フォーマットB

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	照会番号 *-1	N(6)	×	ANSERの取引番号
3	勘定日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) ANSERの起算日
4	起算日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) ANSERの起算日
5	金額(1) *-6	N(10)	×	絶対値
6	うち他店券金額(1) *-3	N(10)	×	10桁以内の場合に使用する。 項番5「金額(1)」を使用し、小切手区分が「小切手」または「他店券」の場合、 「金額(1)」と同じ値を出力 それ以外はスペース 項番12を使用する場合、全て「0」
7	振込依頼人コード	N(10)	×	スペース(固定)
8	振込依頼人名	C(48)	×	振込人名
9	仕向銀行名	C(15)	×	仕向銀行名
10	仕向支店名	C(15)	×	仕向支店名
11	取消区分	N(1)	×	明細区分「取消」、または金額がマイナス値の場合"1" 他はスペース
12	金額(2) *-6	N(12)	×	絶対値
13	うち他店券金額(2) *-3	N(12)	×	11桁以上の場合に使用する。 項番12「金額(2)」を使用し、小切手区分が「小切手」または「他店券」の場合、 「金額(2)」と同じ値を出力 それ以外はスペース 項番5を使用する場合、全て「0」
14	ARS取扱日付 *-4	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付
15	日付 *-5	N(4)	×	"MMDD":明細の起算日→取扱日付→指定日→処理日付
16	ダミー	C(38)	×	スペース
17	ARS取引区分	N(1)	×	"5":振込(固定)
18	ARS金額区分	C(1)	×	"1":プラス "2":マイナス 金額の値より判定
19	CR/LF	C(2)		改行コード

*-6以外はAフォーマットと同様。

- *-6 振込金額が10桁以内の場合、項番5「金額(1)」に金額を出力し、項番12「金額(2)」はオール「0」を出力します。
振込金額が11桁以上の場合、項番12「金額(2)」に金額を出力し、項番5「金額(1)」はオール「0」を出力します。

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	振込合計件数 *-1	N(6)	×	データレコード件数
3	振込合計金額 *-1	N(12)	×	絶対値 取引金額合計値
4	取消合計件数 *-2	N(6)	×	取消区分が"1"のデータレコード件数
5	取消合計金額 *-2	N(12)	×	絶対値 取消区分が"1"の取消金額合計値
6	ダミー	C(163)	×	スペース
7	CR/LF	C(2)		改行コード

- *-1 振込合計件数、振込合計金額は、データレコードの件数および金額(絶対値)の合計を集計します。
*-2 取消合計件数、取消合計金額は、取消区分を1:取消としたデータレコードの件数および金額の合計を集計します。

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	ダミー	C(199)	×	スペース
3	CR/LF	C(2)		改行コード

18. 振込入金照会結果ファイル(全銀形式)SPC/HUフォーマット

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"01":振込入金通知(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	作成日	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)振込入金照会結果日付 例)"250205"
5	勘定日(自)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)先頭データレコードのANSER起算日
6	勘定日(至)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)最終データレコードのANSER起算日
7	銀行コード	N(4)	○	取引口座の銀行コード
8	銀行名	C(15)	○	取引口座の銀行名 漢字またはカナ
9	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード
10	支店名	C(15)	○	取引口座の支店名 漢字またはカナ
11	預金種目	N(1)	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
12	口座番号 *-2	N(7)	○	ANSER取得値または口座マスター設定値
13	口座名	C(40)	○	取引口座の口座名
14	ダミー	C(149)	×	スペース
15	ARS取扱日付 *-3	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付の中で最新日付
16	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 ~ *-3はHUフォーマットと同様。

【データレコード】 ※フォーマットA

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	照会番号 *-1	N(6)	×	ANSERの取引番号
3	勘定日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)ANSERの起算日
4	起算日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)ANSERの起算日
5	金額	N(10)	×	絶対値 ※元12桁の為桁落ち有
6	うち他店券金額 *-3	N(10)	×	小切手区分が「小切手」または「他店券」の場合、金額と同じ値を出力 それ以外はスペース
7	振込依頼人コード	N(10)	×	スペース(固定)
8	振込依頼人名	C(48)	×	振込人名
9	仕向銀行名	C(15)	×	仕向銀行名
10	仕向支店名	C(15)	×	仕向支店名
11	取消区分	N(1)	×	明細区分「取消」、または金額がマイナス値の場合"1" 他はスペース
12	ARS取扱日付 *-4	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付
13	日付 *-5	N(4)	×	"MMDD":明細の起算日→取扱日付→指定日→処理日付
14	ダミー	C(94)	×	スペース
15	ARS取引区分	N(1)	×	"5":振込(固定)
16	ARS金額区分	C(1)	×	"1":プラス "2":マイナス 金額の値より判定
17	小切手区分	C(8)	×	"小切手" "現金" "取立" "他券振込" "交換払" "他店券" "振替入金" "振込" "振替支払"
18	振込メッセージ	C(20)	×	振込メッセージ
19	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 ~ *-5はHUフォーマットと同様。

【データレコード】 ※フォーマットB

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	照会番号 *-1	N(6)	×	ANSERの取引番号
3	勘定日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) ANSERの起算日
4	起算日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) ANSERの起算日
5	金額(1) *-6	N(10)	×	絶対値
6	うち他店券金額(1) *-3	N(10)	×	10桁以内の場合に使用する。 項番5「金額(1)」を使用し、小切手区分が「小切手」または「他店券」の場合、「金額(1)」と同じ値を出力 それ以外はスペース 項番12を使用する場合、全て「0」
7	振込依頼人コード	N(10)	×	スペース(固定)
8	振込依頼人名	C(48)	×	振込人名
9	仕向銀行名	C(15)	×	仕向銀行名
10	仕向支店名	C(15)	×	仕向支店名
11	取消区分	N(1)	×	明細区分「取消」、または金額がマイナス値の場合"1" 他はスペース
12	金額(2) *-6	N(12)	×	絶対値
13	うち他店券金額(2) *-3	N(12)	×	11桁以上の場合に使用する。 項番12「金額(2)」を使用し、小切手区分が「小切手」または「他店券」の場合、「金額(2)」と同じ値を出力 それ以外はスペース 項番5を使用する場合、全て「0」
14	ARS取扱日付 *-4	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付
15	日付 *-5	N(4)	×	"MMDD":明細の起算日→取扱日付→指定日→処理日付
16	ダミー	C(70)	×	スペース
17	ARS取引区分	N(1)	×	"5":振込(固定)
18	ARS金額区分	C(1)	×	"1":プラス "2":マイナス 金額の値より判定
19	小切手区分	C(8)	×	"小切手" "現金" "取立" "他券振込" "交換払" "他店券" "振替入金" "振込" "振替支払"
20	振込メッセージ	C(20)	×	振込メッセージ
21	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 ~ *-6はHUフォーマットと同様。

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	振込合計件数 *-1	N(6)	×	データレコード件数
3	振込合計金額 *-1	N(12)	×	絶対値 取引金額合計値
4	取消合計件数 *-2	N(6)	×	取消区分が"1"のデータレコード件数
5	取消合計金額 *-2	N(12)	×	絶対値 取消区分が"1"の取消金額合計値
6	ダミー	C(223)	×	スペース
7	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 ~ *-2はHUフォーマットと同様。

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	ダミー	C(259)	×	スペース
3	CR/LF	C(2)		改行コード

19. 振込入金照会結果ファイル(バンキング・マネージャー形式)

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"01":振込入金通知(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	作成日	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 出力時の年月日
5	勘定日(自)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 明細の取扱日付→起算日→ヘッダ日付→処理日付
6	勘定日(至)*-1	N(6)	×	データレコードの「勘定日」の先頭の値を「勘定日(自)」に、末尾の値を「勘定日(至)」に出力する。
7	銀行コード	N(4)	○	取引口座の銀行コード
8	銀行名(ｶ)	C(15)	○	取引口座の銀行名
9	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード
10	支店名(ｶ)	C(15)	○	取引口座の支店名
11	預金種目	N(1)	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
12	口座番号	N(7)	○	取引口座の預金種目口座番号 ※元9桁の為桁落ちの場合は右詰め左より2桁切り捨て
13	口座名	C(40)	○	
14	ダミー	C(93)	×	スペース
15	CR/LF	C(2)		改行コード

- *-1 勘定日(YYMMDD)は優先順位に従い、日付フィールドに設定します。
データレコードの「勘定日」の先頭の値を「勘定日(自)」に、末尾の値を「勘定日(至)」に出力します。
第1優先:取扱日付
第2優先:起算日
第3優先:ヘッダ日付
第4優先:処理日付(通信実行日付)
取扱日付および起算日は、月日省略や月省略の場合があります。
全省略時は、次の優先順位を設定します。月のみ省略時は1カ月以内で補完します。
" 4月10日" → "250410" : 年は本来出力されない
" 29日" → "250329" : 日のみで、月を省略

【データレコード】※フォーマットA

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	照会番号 *-1	N(6)	×	取引番号
3	勘定日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 明細の取扱日付→起算日→ヘッダ日付→処理日付
4	起算日 *-3	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 明細の起算日→取扱日付→ヘッダ日付→処理日付
5	金額	N(10)	×	
6	うち他店券金額	N(10)	×	小切手区分が「小切手」または「他店券」の場合、金額と同じ値を出力 それ以外はスペース
7	振込依頼人コード	C(10)	×	スペース
8	振込依頼人名	C(48)	×	
9	仕向銀行名	C(15)	×	
10	仕向支店名	C(15)	×	
11	取消区分	N(1)	×	"0":通常 "1":取消、または金額がマイナス値
12	EDI情報	C(20)	×	振込メッセージ
13	ダミー	C(52)	×	スペース
14	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】※フォーマットB

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	照会番号 *-1	N(6)	×	取引番号
3	勘定日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 明細の取扱日付→起算日→ヘッダ日付→処理日付
4	起算日 *-3	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 明細の起算日→取扱日付→ヘッダ日付→処理日付
5	金額(1)	N(10)	×	「金額」が10桁以内の場合に使用する 項番12を使用する場合、全て「0」
6	うち他店券金額(1)	N(10)	×	10桁以内の場合に使用する。 項番5「金額(1)」を使用し、小切手区分が「小切手」または「他店券」の場合、金額と同じ値を出力 それ以外はスペース 項番12を使用する場合、全て「0」
7	振込依頼人コード	C(10)	×	スペース
8	振込依頼人名	C(48)	×	
9	仕向銀行名	C(15)	×	
10	仕向支店名	C(15)	×	
11	取消区分	N(1)	×	"0":通常 "1":取消、または金額がマイナス値
12	金額(2)	N(12)	×	「金額」が11桁以上の場合に使用する 項番5を使用する場合、全て「0」
13	うち他店券金額(2)	N(12)	×	11桁以上の場合に使用する 項番12「金額(2)」を使用し、小切手区分が「小切手」または「他店券」の場合、金額と同じ値を出力 それ以外はスペース 項番5を使用する場合、全て「0」
14	EDI情報	C(20)	×	振込メッセージ
15	ダミー	C(28)	×	スペース
16	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 照会番号は、ANSERの取引番号に対応します。
明細区分が欠番、または明細区分が取消かつ金額が返却されない場合は、データレコードとして出力しません。
跳び番号が発生します。
ANSERの取引番号は、X99の形式で出力されます。全額に対応するため数値に変換します。
例) A99→1099 B99→1199 . . . Z99→3599

*-2 勘定日(YYMMDD)は優先順位に従い、日付フィールドに設定します。
第1優先:取扱日付
第2優先:起算日
第3優先:ヘッダ日付
第4優先:処理日付(通信実行日付)
取扱日付および起算日は、月日省略や月省略の場合があります。
全省略時は、次の優先順位を設定します。月のみ省略時は1カ月以内で補完します。
" 4月10日" → "250410" : 年は本来出力されない
" 29日" → "250329" : 日のみで、月を省略

*-3 起算日(YYMMDD)は優先順位に従い、日付フィールドに設定します。
第1優先:起算日
第2優先:取扱日付
第3優先:ヘッダ日付
第4優先:処理日付(通信実行日付)
起算日および取扱日付は、月日省略や月省略の場合があります。
全省略時は、次の優先順位を設定します。月のみ省略時は1カ月以内で補完します。
" 4月10日" → "250410" : 年は本来出力されない
" 29日" → "250329" : 日のみで、月を省略

【トレアラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレアラレコード(固定)
2	振込合計件数 *-1	N(6)	×	データレコード件数
3	振込合計金額 *-1	N(12)	×	取引金額合計値
4	取消合計件数 *-2	N(6)	×	取消区分が"1"のデータレコード件数
5	取消合計金額 *-2	N(12)	×	取消区分が"1"の取消金額合計値
6	ダミー	N(163)	×	スペース
7	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 振込合計件数、振込合計金額は、データレコードの件数および金額(絶対値)の合計を集計します。
*-2 取消合計件数、取消合計金額は、取消区分を1:取消としたデータレコードの件数および金額の合計を集計します。

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	ダミー	C(199)	×	スペース
3	CR/LF	C(2)		改行コード

20. 入出金明細照会結果ファイル(CSV)

※ SPC/HUフォーマットとHUフォーマットとの違いは、「項番18. 小切手区分」～「項番22. 振込メッセージ」が追加されている部分です。

項番	項目名	桁数	引用符	口座情報登録 データ使用	SPC/HU フォーマット	内容
1	口座コード	N(4)～(12)	あり	○		"9999"～"999999999999":取引口座の口座コード
2	口座名	C(30)	あり	○		取引口座の口座名
3	銀行コード	N(4)	あり	○		取引口座の銀行コード
4	銀行名	C(30)	あり	○		取引口座の銀行名 漢字またはカナ
5	支店コード	N(3)	あり	○		取引口座の支店コード
6	支店名	C(30)	あり	○		取引口座の支店名 漢字またはカナ
7	預金種目	N(1)	あり	○		取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
8	預金種目口座番号	N(9)	あり	○		取引口座の預金種目口座番号
9	取引番号	C(4)	あり	×		取引番号 HU手順:"X99" SPC手順:"9999"
10	取扱日付 *-1	C(8)	あり	×		"MM月DD日":明細の取扱日付
11	起算日 *-2	C(8)	あり	×		"MM月DD日":明細の起算日
12	取引区分	N(1)	あり	×		"1":振込入金 "2":取立入金 "3":入金 "4":出金
13	明細区分	N(1)	あり	×		"0":通常明細 "1":取消明細 欠番は「0」
14	取引金額	N(12)	-	×		取引金額(マイナス金額含む)
15	摘要内容	C(48)	あり	×		摘要内容
16	仕向銀行名	C(15)	あり	×		仕向銀行名
17	仕向支店名	C(15)	あり	×		仕向支店名
18	小切手区分	C(8)	あり	×	○	"小切手" "現金" "取立" "他券振込" "交換払" "他店券" "振替入金" "振込" "振替支払"
19	取立枚数	C(6)	あり	×	○	取立枚数
20	取立番号	C(6)	あり	×	○	取立番号
21	需要家番号	C(20)	あり	×	○	需要家番号
22	振込メッセージ	C(20)	あり	×	○	振込メッセージ
23	CR/LF	C(2)				改行コード

*-1 取扱日付は、月日省略や月省略の場合があります。
 その際、ANSER出力情報そのままの形でファイル出力されます。
 " 4月10日分" → " 4月10日" : 年は出力されない
 " 29日分" → " 29日" : 日のみで、月を省略
 " " → " " : 月日を省略

*-2 起算日は、月日省略や月省略の場合があります。
 その際、ANSER出力情報そのままの形でファイル出力されます。
 " 4月10日扱い" → " 4月10日" : 年は出力されない
 " 29日扱い" → " 29日" : 日のみで、月を省略
 " " → " " : 月日を省略

21. 入出金明細照会結果ファイル(全銀形式)HUフォーマット

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"03":入出金取引明細(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	作成日	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 入出金照会結果日付 例)"250205"
5	勘定日(自)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 先頭データレコードのANSER起算日
6	勘定日(至)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 最終データレコードのANSER起算日
7	銀行コード	N(4)	○	取引口座の銀行コード
8	銀行名	C(15)	○	取引口座の銀行名 漢字またはカナ
9	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード
10	支店名	C(15)	○	取引口座の支店名 漢字またはカナ
11	ダミー	N(3)	×	"000"(固定)
12	預金種目	N(1)	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
13	口座番号 *-2	N(10)	○	ANSER取得値または口座マスター設定値
14	口座名	C(40)	○	取引口座の口座名
15	貸越区分	N(1)	×	スペース(固定)
16	通帳・証書区分	N(1)	×	スペース(固定)
17	取引前残高	N(14)	×	スペース(固定)
18	ダミー	C(67)	×	スペース
19	ARS取扱日付 *-3	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付の中で最新日付
20	CR/LF	C(2)		改行コード

- *-1 勘定日(YYMMDD)は、ANSERの起算日(MMDD)に対応します。
自/至は、受信順の先頭/最終の明細に対応します。
全省略時は、全桁"0"が設定されます。それ以外は1カ月以内で補完します。
" 4月10日" → "250410" : 年は本来出力されない
" 29日" → "250329" : 日のみで、月を省略
" " → "000000" : 月日を省略
- *-2 明細に口座番号が出力される場合は、先頭明細から順に口座番号を検索し、最初に取得した口座番号が設定されます。最大12桁の下10桁右詰め。
明細に出力されない場合は、口座情報マスター設定値の下7桁。
- *-3 起算日と同様に、出力省略の場合があります。
各明細の取扱日付の中の最新日付となります。
全省略時は、全桁"0"を設定します。それ以外は1カ月以内で補完します。
" 4月10日" → "0410"
" 29日" → "0329" : 日のみで、月を省略
" " → "0000" : 取扱日付を省略

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	照会番号 *-1	N(8)	×	ANSERの取引番号
3	勘定日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) ANSERの起算日
4	預入・払出日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) ANSERの起算日
5	入払区分 *-3	N(1)	×	"1":入金 "2":出金
6	取引区分 *-3	N(2)	×	"11":振込 "13":交換 "19":訂正 " ":スペース
7	取引金額 *-3	N(12)	×	取引金額
8	うち他店券金額 *-4	N(12)	×	摘要が他店券のとき、取引金額と同じ 他は全桁"0"
9	交換呈示日	N(6)	×	スペース(固定)
10	不渡返還日	N(6)	×	スペース(固定)
11	手形・小切手区分*-5	N(1)	×	"1":摘要が小切手 "2":摘要が手形 他はスペース
12	手形・小切手番号	N(7)	×	スペース(固定)
13	僚店番号	N(3)	×	スペース(固定)
14	振込依頼人コード	N(10)	×	スペース(固定)
15	振込依頼人名	C(48)	×	振込入金のとき、振込人名 他はスペース
16	仕向銀行名	C(15)	×	振込入金のとき、銀行名 他はスペース
17	仕向支店名	C(15)	×	振込入金のとき、支店名 他はスペース
18	摘要内容	C(20)	×	振込入金以外のとき、摘要 20桁切り捨て
19	ARS取扱日付 *-6	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付
20	日付 *-7	N(4)	×	"MMDD":明細の起算日→取扱日付→指定日→処理日付
21	ダミー	C(11)	×	スペース
22	ARS取引区分 *-3	N(1)	×	"1":振込入金 "2":取立入金 "3":入金 "4":出金
23	ARS金額区分 *-3	C(1)	×	"1":プラス "2":マイナス
24	CR/LF	C(2)		改行コード

- *-1 照会番号は、ANSERの取引番号に対応します。
 明細区分が欠番、または明細区分が取消かつ金額が返却されない場合は、データレコードとして出力しません。
 跳び番号が発生します。

ANSERの取引番号は、X99の形式で出力されます。全銀に対応するため数値に変換します。
 例) A99→1099 B99→1199 . . . Z99→3599

- *-2 勘定日と預入・払出日(YMMDD)は同一とし、ANSERの起算日(MMDD)に対応します。
 全省略時は、全桁"0"を設定します。それ以外は1カ月以内で補完します。
 " 4月10日扱い" → "250410" : 年は本来出力されない
 " 29日扱い" → "250329" : 日のみで、月を省略
 " " → "000000" : 月日を省略

- *-3 入払区分、取引区分、取引金額は、ANSER取得情報の取引区分、取消、金額から変換付替えます。次表を参照。

金額がマイナスの場合、取引金額には絶対値を設定し、入払区分が逆になります。
 明細区分が取消かつ金額が返却されない場合は、データレコードとして出力しません。

項番	ANSER取得情報			全銀フォーマット項目			補助項目の追加	
	取引区分	*取消*	金額	入払区分	取引区分	取引金額	ARS取引区分	金額区分
1	振込入金	なし	999	1:入金	11:振込	999	1:振込入金	1:プラス
2			-999	2:出金	11:振込	999	1:振込入金	2:マイナス
3		取消	999	1:入金	19:訂正	999	1:振込入金	1:プラス
4			-999	2:出金	19:訂正	999	1:振込入金	2:マイナス
5	取立入金	なし	999	1:入金	13:交換	999	2:取立入金	1:プラス
6			-999	2:出金	13:交換	999	2:取立入金	2:マイナス
7		取消	999	1:入金	19:訂正	999	2:取立入金	1:プラス
8			-999	2:出金	19:訂正	999	2:取立入金	2:マイナス
9	入金	なし	999	1:入金	スペース	999	3:入金	1:プラス
10			-999	2:出金	スペース	999	3:入金	2:マイナス
11		取消	999	1:入金	19:訂正	999	3:入金	1:プラス
12			-999	2:出金	19:訂正	999	3:入金	2:マイナス
13	出金	なし	999	2:出金	スペース	999	4:出金	1:プラス
14			-999	1:入金	スペース	999	4:出金	2:マイナス
15		取消	999	2:出金	19:訂正	999	4:出金	1:プラス
16			-999	1:入金	19:訂正	999	4:出金	2:マイナス

- *-4 取引区分が入金、出金で、摘要に他店券を出力の場合は、取引金額の全額を設定します。
 それ以外の場合は、全桁"0"を設定します。
- *-5 取引区分が入金、出金で、摘要に小切手を出力の場合は、"1":小切手を設定します。
 取引区分が入金、出金で、摘要に手形を出力の場合は、"2":手形を設定します。
 それ以外の場合は、スペースを設定します。
- *-6 ARS取扱日付は、月日省略や月省略の場合があります。
 その際、ANSER出力情報そのままの形でファイル出力されます。全省略時は、全桁"0"を設定します。
 " 4月10日分" → "0410" : 年は出力されない
 " 29日分" → "0029" : 日のみで、月を省略
 " " → "0000" : 月日を省略
- *-7 ANSER受信画面から優先順位に従い、日付フィールドに設定します。
 第1優先:起算日
 第2優先:ARS取扱日付
 第3優先:指定日
 第4優先:入出金照会結果日付
 ARS取扱日付および起算日は、月日省略や月省略の場合があります。
 その際、ANSER出力情報そのままの形でファイル出力します。
 " 4月10日分" → "0410" : 年は出力されない
 " 29日分" → "0029" : 日のみで、月を省略

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	入金件数 *-1	N(6)	×	入払区分が"1"のデータレコード件数
3	入金額合計 *-1	N(13)	×	絶対値 データレコードの入払区分が"1"の合計金額
4	出金件数 *-2	N(6)	×	入払区分が"2"のデータレコード件数
5	出金額合計 *-2	N(13)	×	絶対値 データレコードの入払区分が"2"の合計金額
6	貸越区分 *-3	N(1)	×	"1":プラス "2":マイナス " ":返却なし
7	取引後残高 *-3	N(14)	×	残高絶対値 スペース:返却なし
8	データレコード件数 *-4	N(7)	×	データレコードの合計件数
9	ダミー	C(139)	×	スペース
10	CR/LF	C(2)		改行コード

- *-1 入金件数、入金額合計は、入払区分を1:入金としたデータレコードの件数および取引金額の合計を集計します。ANSERで金額がマイナスの場合に入払区分を付け替えることにより、件数および金額合計は、ANSER出力とは異なる値になります。
- *-2 出金件数、出金額合計は、入払区分を2:出金としたデータレコードの件数および取引金額の合計を集計します。ANSER出力とは異なる値になります。
- *-3 残高が出力されるときは、取得値を符号と絶対値に分離します。返却なしのときは、スペースを出力します。
- *-4 作成したファイルのデータレコード件数(入金件数+出金件数)で、取消・欠番を除去することにより受信明細件数とは異なる場合があります。

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	レコード総件数	N(10)	×	ファイルの全レコード数(エンドレコードを含む)
3	口座数	N(5)	×	ファイル内のヘッダレコード数
4	ダミー	C(184)	×	スペース
5	CR/LF	C(2)		改行コード

22. 入出金明細照会結果ファイル(全銀形式)SPC/HUフォーマット

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"03":入出金取引明細(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	作成日	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 入出金照会結果日付 例)"250205"
5	勘定日(自)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 先頭データレコードのANSER起算日
6	勘定日(至)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 最終データレコードのANSER起算日
7	銀行コード	N(4)	○	取引口座の銀行コード
8	銀行名	C(15)	○	取引口座の銀行名 漢字またはカナ
9	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード
10	支店名	C(15)	○	取引口座の支店名 漢字またはカナ
11	ダミー	N(3)	×	"000"(固定)
12	預金種目	N(1)	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
13	口座番号 *-2	N(10)	○	ANSER取得値または口座マスター設定値
14	口座名	C(40)	○	取引口座の口座名
15	貸越区分	N(1)	×	スペース(固定)
16	通帳・証書区分	N(1)	×	スペース(固定)
17	取引前残高	N(14)	×	スペース(固定)
18	ダミー	C(127)	×	スペース
19	ARS取扱日付 *-3	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付の中で最新日付
20	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 ~ *-3はHUフォーマットと同様。

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	照会番号 *-1	N(8)	×	ANSERの取引番号
3	勘定日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) ANSERの起算日
4	預入・払出日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) ANSERの起算日
5	入払区分 *-3	N(1)	×	"1":入金 "2":出金
6	取引区分 *-3	N(2)	×	"11":振込 "13":交換 "19":訂正 " ":スペース
7	取引金額 *-3	N(12)	×	取引金額
8	うち他店券金額 *-4	N(12)	×	摘要が他店券のとき、取引金額と同じ 他は全桁"0"
9	交換呈示日	N(6)	×	スペース(固定)
10	不渡返還日	N(6)	×	スペース(固定)
11	手形・小切手区分*-5	N(1)	×	"1":摘要が小切手 "2":摘要が手形 他はスペース
12	手形・小切手番号	N(7)	×	スペース(固定)
13	僚店番号	N(3)	×	スペース(固定)
14	振込依頼人コード	N(10)	×	スペース(固定)
15	振込依頼人名	C(48)	×	振込入金、振込のとき、振込人名 他はスペース
16	仕向銀行名	C(15)	×	振込入金、振込のとき、銀行名 他はスペース
17	仕向支店名	C(15)	×	振込入金、振込のとき、支店名 他はスペース
18	摘要内容	C(20)	×	振込入金と振込以外のとき、摘要 20桁切り捨て
19	ARS取扱日付 *-6	N(4)	×	"MMDD":明細の取扱日付
20	日付 *-7	N(4)	×	"MMDD":明細の起算日→取扱日付→指定日→処理日付
21	ダミー	C(11)	×	スペース
22	ARS取引区分 *-3	C(1)	×	"1":振込入金 "2":取立入金 "3":入金 "4":出金
23	ARS金額区分 *-3	C(1)	×	"1":プラス "2":マイナス
24	小切手区分	C(8)	×	"小切手" "現金" "取立" "他券振込" "交換払" "他店券" "振替入金" "振込" "振替支払"
25	取立枚数	C(6)	×	取立枚数
26	取立番号	C(6)	×	取立番号
27	需要家番号	C(20)	×	需要家番号
28	振込メッセージ	C(20)	×	振込メッセージ
29	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 ~ *-7はHUフォーマットと同様。

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	入金件数 *-1	N(6)	×	入払区分が"1"のデータレコード件数
3	入金額合計 *-1	N(13)	×	絶対値 データレコードの入払区分が"1"の合計金額
4	出金件数 *-2	N(6)	×	入払区分が"2"のデータレコード件数
5	出金額合計 *-2	N(13)	×	絶対値 データレコードの入払区分が"2"の合計金額
6	貸越区分 *-3	N(1)	×	"1":プラス "2":マイナス " ":返却なし
7	取引後残高 *-3	N(14)	×	残高絶対値 スペース:返却なし
8	データレコード件数 *-4	N(7)	×	データレコードの合計件数
9	ダミー	C(199)	×	スペース
10	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 ~ *-4はHUフォーマットと同様。

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	レコード総件数	N(10)	×	ファイルの全レコード数(エンドレコードを含む)
3	口座数	N(5)	×	ファイル内のヘッダレコード数
4	ダミー	C(244)	×	スペース
5	CR/LF	C(2)		改行コード

23. 入出金明細照会結果ファイル(バンキング・マネージャー形式)

【ヘッダレコード】 ※「ヘッダレコードにパターンと口座の情報を出力する」にチェックが付いていない場合

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"03":入出金取引明細(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	作成日	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)出力時の年月日 「データ作成日」が[作成日なし]の場合、スペース
5	勘定日(自)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 明細の取扱日付→起算日→ヘッダ日付→処理日付 データレコードの「勘定日」の先頭の値を「勘定日(自)」に、末尾の値を
6	勘定日(至)*-1	N(6)	×	「勘定日(至)」に出力する。 設定条件「勘定日」が[勘定日なし]の場合、スペース
7	銀行コード	N(4)	○	取引口座の銀行コード
8	銀行名(か)	C(15)	○	取引口座の銀行名
9	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード
10	支店名(か)	C(15)	○	取引口座の支店名
11	ダミー	N(3)	×	"000"(固定)
12	預金種目	N(1)	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
13	預金種目口座番号	N(10)/N(12)	○	取引口座の預金種目口座番号 設定条件「口座番号の出力形式」で「右詰め残り前「0」」の場合、右詰め 前0、「左詰め残り後スペース」の場合、左詰め残りスペース 設定条件「口座番号形式」で預金種目を付けて出力するかを設定 12桁で出力する設定の場合は12桁で出力
14	口座名	C(40)/C(38)	×	スペース(固定)
15	貸越区分	C(1)	×	スペース(固定)
16	通帳・証書区分	C(1)	×	スペース(固定)
17	取引前残高	C(14)	×	スペース(固定)
18	ダミー	C(71)	×	スペース
19	CR/LF	C(2)		改行コード

【ヘッダレコード】 ※「ヘッダレコードにパターンと口座の情報を出力する」にチェックが付いている場合

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"1":ヘッダレコード(固定)
2	種別コード	N(2)	×	"03":入出金取引明細(固定)
3	コード区分	N(1)	×	"0":JIS(固定)
4	作成日	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦)出力時の年月日 「データ作成日」が[作成日なし]の場合、スペース
5	勘定日(自)*-1	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 明細の取扱日付→起算日→ヘッダ日付→処理日付 データレコードの「勘定日」の先頭の値を「勘定日(自)」に、末尾の値を
6	勘定日(至)*-1	N(6)	×	「勘定日(至)」に出力する。 設定条件「勘定日」が[勘定日なし]の場合、スペース
7	銀行コード	N(4)	○	取引口座の銀行コード
8	銀行名(か)	C(15)	○	取引口座の銀行名
9	支店コード	N(3)	○	取引口座の支店コード
10	支店名(か)	C(15)	○	取引口座の支店名
11	ダミー	N(3)	×	"000"(固定)
12	預金種目	N(1)	○	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
13	預金種目口座番号	N(10)/N(12)	○	取引口座の預金種目口座番号 設定条件「口座番号の出力形式」で「右詰め残り前「0」」の場合、右詰め 前0、「左詰め残り後スペース」の場合、左詰め残りスペース 設定条件「口座番号形式」で預金種目を付けて出力するかを設定 12桁で出力する設定の場合は12桁で出力
14	口座名	C(40)/C(38)	×	スペース(固定)
15	貸越区分	C(1)	×	スペース(固定)
16	パターンコード	N(2)	○	パターンコード ※元3桁の為桁落ちの場合は右詰め左より1桁切り捨て
17	パターン名	C(30)	○	パターン名 ※元32桁の為桁落ちの場合は左詰め右より2桁切り捨て
18	口座コード	N(12)	○	取引口座の口座コード
19	口座の説明	C(30)	○	取引口座の口座名
20	ダミー	C(12)	×	スペース
21	CR/LF	C(2)		改行コード

- *-1 勘定日(YYMMDD)は優先順位に従い、日付フィールドに設定します。
データレコードの「勘定日」の先頭の値を「勘定日(自)」に、末尾の値を「勘定日(至)」に出力します。
第1優先:取扱日付
第2優先:起算日
第3優先:ヘッダ日付
第4優先:処理日付(通信実行日付)
取扱日付および起算日は、月日省略や月省略の場合があります。
全省略時は、次の優先順位を設定します。月のみ省略時は1カ月以内で補完します。
"4月10日" → "250410" : 年は本来出力されない
"29日" → "250329" : 日のみで、月を省略

【データレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"2":データレコード(固定)
2	照会番号 *-1	N(8)	×	取引番号
3	勘定日 *-2	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 明細の取扱日付→起算日→ヘッダ日付→処理日付
4	預入・払出日 *-3	N(6)	×	"YYMMDD":(和暦) 明細の起算日→取扱日付→ヘッダ日付→処理日付
5	入払区分	N(1)	×	"1":入金 "2":出金
6	取引区分 *-4	N(2)	×	"10":現金 "11":振込 "12":他店券入金、 "13":交換(取立入金および交換払) "19":訂正
7	取引金額	N(12)	×	取引金額
8	うち他店券金額	C(12)	×	スペース(固定)
9	交換呈示日	C(6)	×	スペース(固定)
10	不渡返還日	C(6)	×	スペース(固定)
11	手形・小切手区分	C(1)	×	スペース(固定)
12	手形・小切手番号	C(7)	×	スペース(固定)
13	僚店番号	C(3)	×	スペース(固定)
14	振込依頼人コード	C(10)	×	スペース(固定)
15	振込依頼人名	C(48)	×	
16	仕向銀行名	C(15)	×	
17	仕向支店名	C(15)	×	
18	摘要内容	C(20)	×	
19	EDI情報	C(20)	×	振込メッセージ ※全銀形式(バンキング・マネージャー形式)、かつ[各種管理]-[システム環境設定]メニューの「CR/LFを含むレコード長」が「202/258バイト」の場合は、左詰め右より1桁切り捨て
20	ダミー	C(1)	×	スペース
21	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 照会番号は、ANSERの取引番号に対応します。
明細区分が欠番、または明細区分が取消かつ金額が返却されない場合は、データレコードとして出力しません。
跳び番号が発生します。
ANSERの取引番号は、X99の形式で出力されます。全銀に対応するため数値に変換します。
例) A99→1099 B99→1199 . . . Z99→3599

*-2 勘定日(YYMMDD)は優先順位に従い、日付フィールドに設定します。
第1優先:取扱日付
第2優先:起算日
第3優先:ヘッダ日付
第4優先:処理日付(通信実行日付)
取扱日付および起算日は、月日省略や月省略の場合があります。
全省略時は、次の優先順位を設定します。月のみ省略時は1カ月以内で補完します。
" 4月10日" → "250410" : 年は本来出力されない
" 29日" → "250329" : 日のみで、月を省略

*-3 預入・払出日(YYMMDD)は優先順位に従い、日付フィールドに設定します。
第1優先:起算日
第2優先:取扱日付
第3優先:ヘッダ日付
第4優先:処理日付(通信実行日付)
起算日および取扱日付は、月日省略や月省略の場合があります。
全省略時は、次の優先順位を設定します。月のみ省略時は1カ月以内で補完します。
" 4月10日" → "250410" : 年は本来出力されない
" 29日" → "250329" : 日のみで、月を省略

*-4 取引区分は、返却情報により以下のように出力します。

ANSER返却情報		その他条件	出力項目
取引名	摘要		取引区分
振込入金	-		11:振込
取立入金	-		13:交換(取立入金および交換払)
入金	「小切手」を含む	HU/VALUX(HU契約)の口座	12:他店券入金
	「他店券」を含む	HU/VALUX(HU契約)の口座	12:他店券入金
	-	上記条件以外	10:現金
出金	「小切手」を含む		13:交換(取立入金および交換払)
	「他店券」を含む		13:交換(取立入金および交換払)
	-	上記条件以外	10:現金
-	-	上記条件以外	10:現金
-	-	明細区分が「取消」	19:訂正

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"8":トレーラレコード(固定)
2	入金件数	N(6)	×	入払区分が"1"のデータレコード件数
3	入金額合計	N(13)	×	データレコードの入払区分が"1"の合計金額
4	出金件数	N(6)	×	入払区分が"2"のデータレコード件数
5	出金額合計	N(13)	×	データレコードの入払区分が"2"の合計金額
6	貸越区分	N(1)	×	"1":プラス "2":マイナス
7	取引後残高	N(14)	×	
8	データレコード件数	N(7)	×	データレコードの合計件数
9	ダミー	C(139)	×	スペース
10	GR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	口座情報登録 データ使用	内容
1	データ区分	N(1)	×	"9":エンドレコード(固定)
2	レコード総件数	N(10)	×	ファイルの全レコード数(エンドレコードを含む)
3	口座数	N(5)	×	ファイル内のヘッダレコード数
4	ダミー	C(184)	×	スペース
5	GR/LF	C(2)		改行コード

24. 資金移動結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り)

[日常処理]-[汎用出力形式登録]メニューで登録する汎用出力形式のフォーマットです。
出力形式は、必要な項目のみ選択して出力することができます。

項目名	桁数	引用符	区分	内容
処理実行日付(YYYYMMDD)	N(8)	あり	-	"YYYYMMDD":(西暦)振込振替結果日付
処理実行日付(YYYY/MM/DD)	C(10)	あり	-	"YYYY/MM/DD":(西暦)振込振替結果日付
振込指定日(YYYYMMDD)*-1	N(8)	あり	-	"YYYYMMDD":翌営業日扱いが"3"のとき出力 振込振替完了以外は省略
振込指定日(MMDD)	N(4)	あり	-	"MMDD":翌営業日扱いが"3"のとき出力 振込振替完了以外は省略
振込指定日(YYYY/MM/DD)*-1	C(10)	あり	-	"YYYY/MM/DD":翌営業日扱いが"3"のとき出力 振込振替完了以外は省略
振込指定日(MM/DD)	C(5)	あり	-	"MM/DD":翌営業日扱いが"3"のとき出力 振込振替完了以外は省略
[親口座]口座コード	N(4)~(12)	あり	マスター情報	"9999"~"999999999999":親口座コード
[親口座]口座名	C(30)	あり	マスター情報	親口座の口座名
[親口座]銀行コード	N(4)	-	マスター情報	親口座の銀行コード
[親口座]銀行名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	親口座の銀行名(漢字)
[親口座]銀行名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	親口座の銀行名(カナ)
[親口座]支店コード	N(3)	-	マスター情報	親口座の支店コード
[親口座]支店名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	親口座の支店名(漢字)
[親口座]支店名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	親口座の支店名(カナ)
[親口座]番号方式区分	N(1)	-	マスター情報	"1":口座番号方式"2":加入者番号方式
[親口座]預金種目	N(1)	-	マスター情報	親口座の預金種目 "1":普通預金"2":当座預金"4":貯蓄預金"9":その他
[親口座]口座番号	N(7)	あり	マスター情報	親口座の口座番号
[親口座]種目コード 口座番号	N(9)	あり	マスター情報	親口座の預金種目口座番号 預金種目2桁と口座番号7桁を出力 番号方式区分が"1"のとき出力
[親口座]加入者番号	N(12)	あり	マスター情報	親口座の加入者番号 番号方式区分が"2"のとき出力
[子口座]口座コード	N(4)~(12)	あり	マスター情報	"9999"~"999999999999":子口座コード
[子口座]口座名	C(30)	あり	マスター情報	子口座の口座名
[子口座]銀行コード	N(4)	-	マスター情報	子口座の銀行コード
[子口座]銀行名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	子口座の銀行名(漢字)
[子口座]銀行名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	子口座の銀行名(カナ)
[子口座]支店コード	N(3)	-	マスター情報	子口座の支店コード
[子口座]支店名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	子口座の支店名(漢字)
[子口座]支店名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	子口座の支店名(カナ)
[子口座]番号方式区分	N(1)	-	マスター情報	"1":口座番号方式"2":加入者番号方式
[子口座]預金種目	N(1)	-	マスター情報	子口座の預金種目 "1":普通預金"2":当座預金"4":貯蓄預金"9":その他
[子口座]口座番号	N(7)	あり	マスター情報	子口座の口座番号
[子口座]種目コード 口座番号	N(9)	あり	マスター情報	子口座の預金種目口座番号 預金種目2桁と口座番号7桁を出力 子口座の番号方式区分が"1"のとき出力
[子口座]加入者番号	N(12)	あり	マスター情報	子口座の加入者番号 番号方式区分が"2"のとき出力
受取人番号	N(12)	あり	マスター情報	事前登録した受取人番号
入払区分	N(1)	-	-	"1":入金(集中)"2":出金(配分) 振込振替完了以外は省略
取引金額	N(11)	-	受信情報	移動金額 振込振替完了以外は省略
振込手数料区分	N(1)	-	受信情報	"1":税込手数料"2":手数料後払"3":手数料 "4":料金相手払"5":税抜手数料"0":なし 振込振替完了以外は省略
振込手数料	N(5)	-	受信情報	手数料 振込振替完了以外は省略
翌営業日扱い	N(1)	-	受信情報	"1":当日扱い"2":翌営業日扱い"3":指定日扱い 振込振替完了以外は省略
受付番号	C(8)	あり	受信情報	受付番号 振込振替完了以外は省略
移動前基準残高	N(13)	-	計算項目	移動前基準残高
表面残高	N(12)	-	受信情報	表面残高
振込メッセージ	C(20)	あり	受信情報	振込メッセージ 振込振替完了以外は省略
CR/LF	C(2)	-	-	改行コード

*-1 振込指定日の年情報は、「処理実行日付」の年情報より補完します。
処理実行日付が「2013年12月30日」で振込指定日が「1月3日」の出力結果
「YYYYMMDD」:「20140103」
「YYYY/MM/DD」:「2014/01/03」

25. 残高照会結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り)

[日常処理]-[汎用出力形式登録]メニューで登録する汎用出力形式のフォーマットです。
出力形式は、必要な項目のみ選択して出力することができます。

項目名	桁数	引用符	区分	内容
処理実行日付(YYYYMMDD)	N(8)	あり	-	"YYYYMMDD":(西暦)残高照会結果日付
処理実行日付(YYYY/MM/DD)	C(10)	あり	-	"YYYY/MM/DD":(西暦)残高照会結果日付
口座区分	N(1)	-	マスター情報	"1":親口座 "2":子口座 "3":通知預金口座
口座コード	N(4)~(12)	あり	マスター情報	"9999"~"999999999999":取引口座の口座コード
口座名	C(30)	あり	マスター情報	取引口座の口座名
銀行コード	N(4)	-	マスター情報	取引口座の銀行コード
銀行名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	取引口座の銀行名(漢字)
銀行名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	取引口座の銀行名(カナ)
支店コード	N(3)	-	マスター情報	取引口座の支店コード
支店名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	取引口座の支店名(漢字)
支店名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	取引口座の支店名(カナ)
番号方式区分	N(1)	-	マスター情報	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
預金種目	N(1)	-	マスター情報	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "5":通知預金 "9":その他
口座番号	N(7)	あり	マスター情報	取引口座の口座番号
種目コード`口座番号	N(9)	あり	マスター情報	取引口座の預金種目口座番号 預金種目2桁と口座番号7桁を出力 番号方式区分が"1"のとき出力
加入者番号	N(12)	あり	マスター情報	取引口座の加入者番号 番号方式区分が"2"のとき出力
当日日付(YYYYMMDD) *-1	N(8)	あり	受信情報	"YYYYMMDD":当日日付(月日)
当日日付(MMDD)	N(4)	あり	受信情報	"MMDD":当日日付(月日)
当日日付(YYYY/MM/DD) *-1	C(10)	あり	受信情報	"YYYY/MM/DD":当日日付(月日)
当日日付(MM/DD)	C(5)	あり	受信情報	"MM/DD":当日日付(月日)
前日日付(YYYYMMDD) *-1	N(8)	あり	受信情報	"YYYYMMDD":前日日付(月日)
前日日付(MMDD)	N(4)	あり	受信情報	"MMDD":前日日付(月日)
前日日付(YYYY/MM/DD) *-1	C(10)	あり	受信情報	"YYYY/MM/DD":前日日付(月日)
前日日付(MM/DD)	C(5)	あり	受信情報	"MM/DD":前日日付(月日)
前月(YYYYMM) *-1	N(6)	あり	受信情報	"YYYYMM":前月(月)
前月(MM)	N(2)	あり	受信情報	"MM":前月(月)
前月(YYYY/MM) *-1	C(7)	あり	受信情報	"YYYY/MM":前月(月)
当日残高区分	N(1)	-	受信情報	"1":預金残高 "2":融資残高 "3":貸越残高 "4":残高、貯金残高
前日残高区分	N(1)	-	受信情報	"1":預金残高 "2":融資残高 "3":貸越残高 "4":残高、貯金残高
前月末残高区分	N(1)	-	受信情報	"1":預金残高 "2":融資残高 "3":貸越残高 "4":残高、貯金残高
当日残高区分名	N(8)	あり	受信情報	"預金残高" "融資残高" "貸越残高" "残高" "貯金残高"
前日残高区分名	N(8)	あり	受信情報	"預金残高" "融資残高" "貸越残高" "残高" "貯金残高"
前月末残高区分名	N(8)	あり	受信情報	"預金残高" "融資残高" "貸越残高" "残高" "貯金残高"
当日残高	N(12)	-	受信情報	預金残高(マイナス値も含む)
前日残高	N(12)	-	受信情報	預金残高(マイナス値も含む)
前月末残高	N(12)	-	受信情報	預金残高(マイナス値も含む)
引出可能金額	N(11)	-	受信情報	引出可能金額
残高中小切手金額	N(11)	-	受信情報	残高中小切手金額
残高中他店券金額	N(11)	-	受信情報	残高中他店券金額
他店券残高	N(11)	-	受信情報	他店券残高
呈示済他店券残高	N(11)	-	受信情報	呈示済他店券残高
本日資金化予定額	N(11)	-	受信情報	本日資金化予定額
移動前基準残高	N(13)	-	計算項目	算出した移動前基準残高を出力(マイナス値も含む) サービスコード1100/1200で実行した場合のみ出力
CR/LF	C(2)			改行コード

*-1 当日日付、前日日付、前月の年情報は、「処理実行日付」の年情報より補完します。

処理実行日付が「2013年11月1日」の出力結果

「YYYYMMDD」 : 当日日付"20131101"、前日日付"20131031"
「YYYY/MM/DD」 : 当日日付"2013/11/01"、前日日付"2013/10/31"
「YYYYMM」 : 前月"201310"
「YYYY/MM」 : 前月"2013/10"

26. 振込入金照会結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り)

[日常処理]-[汎用出力形式登録]メニューで登録する汎用出力形式のフォーマットです。
出力形式は、必要な項目のみ選択して出力することができます。

項目名	桁数	引用符	区分	内容
処理実行日付(YYYYMMDD)	N(8)	あり	-	"YYYYMMDD":(西暦)振込入金照会結果日付
処理実行日付(YYYY/MM/DD)	C(10)	あり	-	"YYYY/MM/DD":(西暦)振込入金照会結果日付
口座区分	N(1)	-	マスター情報	"1":親口座 "2":子口座
口座コード	N(4)~(12)	あり	マスター情報	"9999"~"999999999999":取引口座の口座コード
口座名	C(30)	あり	マスター情報	取引口座の口座名
銀行コード	N(4)	-	マスター情報	取引口座の銀行コード
銀行名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	取引口座の銀行名(漢字)
銀行名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	取引口座の銀行名(カナ)
支店コード	N(3)	-	マスター情報	取引口座の支店コード
支店名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	取引口座の支店名(漢字)
支店名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	取引口座の支店名(カナ)
番号方式区分	N(1)	-	マスター情報	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
預金種目	N(1)	-	マスター情報	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
口座番号	N(7)	あり	マスター情報	取引口座の口座番号
種目コード^口座番号	N(9)	あり	マスター情報	取引口座の預金種目口座番号 預金種目2桁と口座番号7桁を出力 番号方式区分が"1"のとき出力
加入者番号	N(12)	あり	マスター情報	取引口座の加入者番号 番号方式区分が"2"のとき出力
取引番号	C(4)	あり	受信情報	取引番号 HU手順:"X99" SPC手順:"9999"
取扱日付(YYYYMMDD) *-1	N(8)	あり	受信情報	"YYYYMMDD":明細の取扱日付
取扱日付(MMDD) *-2	N(4)	あり	受信情報	"MMDD":明細の取扱日付
取扱日付(YYYY/MM/DD) *-1	C(10)	あり	受信情報	"YYYY/MM/DD":明細の取扱日付
取扱日付(MM/DD) *-2	C(5)	あり	受信情報	"MM/DD":明細の取扱日付
起算日(YYYYMMDD) *-1	N(8)	あり	受信情報	"YYYYMMDD":明細の起算日
起算日(MMDD) *-2	N(4)	あり	受信情報	"MMDD":明細の起算日
起算日(YYYY/MM/DD) *-1	C(10)	あり	受信情報	"YYYY/MM/DD":明細の起算日
起算日(MM/DD) *-2	C(5)	あり	受信情報	"MM/DD":明細の起算日
集計基準日(YYYYMMDD) *-3	N(8)	あり	受信情報	"YYYYMMDD":集計基準日 起算日→取扱日付→指定日→照会日
集計基準日(MMDD) *-3	N(4)	あり	受信情報	"MMDD":集計基準日 起算日→取扱日付→指定日→照会日
集計基準日(YYYY/MM/DD) *-3	C(10)	あり	受信情報	"YYYY/MM/DD":集計基準日 起算日→取扱日付→指定日→照会日
集計基準日(MM/DD) *-3	C(5)	あり	受信情報	"MM/DD":集計基準日 起算日→取扱日付→指定日→照会日
取引区分	N(1)	-	受信情報	"5":振込(固定)
取引名	C(8)	あり	受信情報	"振込"(固定)
明細区分	N(1)	-	受信情報	"0":通常明細 "1":取消明細 欠番は「0」
取引金額	N(14)	-	受信情報	取引金額(マイナス金額含む)
摘要	C(50)	あり	受信情報	摘要内容
仕向銀行名	C(15)	あり	受信情報	仕向銀行名
仕向支店名	C(15)	あり	受信情報	仕向支店名
小切手区分	C(8)	あり	受信情報	"他券振込" "振込"
振込メッセージ	C(20)	あり	受信情報	振込メッセージ
CR/LF	C(2)	-	-	改行コード

- *-1 取扱日付と起算日の年情報は、「処理実行日付」の年情報より補完します。
月が省略された場合は1か月以内で補完し、月と日が省略された場合は何も出力しません。
処理実行日付が「2013年9月10日」の出力結果
"9月10日" → "20130910" : 月と日が返却され「YYYYMMDD」形式で出力
"10日" → "20130910" : 月が省略され「YYYYMMDD」形式で出力
" " → "" : 月と日が省略され「YYYYMMDD」形式で出力
- *-2 月が省略された場合は1か月以内で補完し、月と日が省略された場合は何も出力しません。
処理実行日付が「2013年9月10日」の出力結果
"9月10日" → "0910" : 月: 年は出力されない
"10日" → "0910" : 月: 日のみで、月を省略
" " → "" : 月: 月日を省略
- *-3 ANSER受信画面から優先順位に従い設定します。
起算日と取扱日付は月が省略された場合は1か月以内で補完します。
第1優先: 起算日
第2優先: 取扱日付
第3優先: 指定日
第4優先: 処理実行日付

27. 入出金明細照会結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り)

[日常処理]-[汎用出力形式登録]メニューで登録する汎用出力形式のフォーマットです。
出力形式は、必要な項目のみ選択して出力することができます。

項目名	桁数	引用符	区分	内容
処理実行日付(YYYYMMDD)	N(8)	あり	-	"YYYYMMDD":(西暦) 入出金明細照会結果日付
処理実行日付(YYYY/MM/DD)	C(10)	あり	-	"YYYY/MM/DD":(西暦) 入出金明細照会結果日付
口座区分	N(1)	-	マスター情報	"1":親口座 "2":子口座
口座コード	N(4)~(12)	あり	マスター情報	"9999"~"999999999999":取引口座の口座コード
口座名	C(30)	あり	マスター情報	取引口座の口座名
銀行コード	N(4)	-	マスター情報	取引口座の銀行コード
銀行名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	取引口座の銀行名(漢字)
銀行名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	取引口座の銀行名(カナ)
支店コード	N(3)	-	マスター情報	取引口座の支店コード
支店名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	取引口座の支店名(漢字)
支店名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	取引口座の支店名(カナ)
番号方式区分	N(1)	-	マスター情報	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
預金種目	N(1)	-	マスター情報	取引口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
口座番号	N(7)	あり	マスター情報	取引口座の口座番号
種目コード^口座番号	N(9)	あり	マスター情報	取引口座の預金種目口座番号 預金種目2桁と口座番号7桁を出力 番号方式区分が"1"のとき出力
加入者番号	N(12)	あり	マスター情報	取引口座の加入者番号 番号方式区分が"2"のとき出力
取引番号	C(4)	あり	受信情報	取引番号 HU手順:"X99" SPC手順:"9999"
取扱日付(YYYYMMDD) *-1	N(8)	あり	受信情報	"YYYYMMDD":明細の取扱日付
取扱日付(MMDD) *-2	N(4)	あり	受信情報	"MMDD":明細の取扱日付
取扱日付(YYYY/MM/DD) *-1	C(10)	あり	受信情報	"YYYY/MM/DD":明細の取扱日付
取扱日付(MM/DD) *-2	C(5)	あり	受信情報	"MM/DD":明細の取扱日付
起算日(YYYYMMDD) *-1	N(8)	あり	受信情報	"YYYYMMDD":明細の起算日
起算日(MMDD) *-2	N(4)	あり	受信情報	"MMDD":明細の起算日
起算日(YYYY/MM/DD) *-1	C(10)	あり	受信情報	"YYYY/MM/DD":明細の起算日
起算日(MM/DD) *-2	C(5)	あり	受信情報	"MM/DD":明細の起算日
集計基準日(YYYYMMDD) *-3	N(8)	あり	受信情報	"YYYYMMDD":集計基準日 起算日→取扱日付→指定日→照会日
集計基準日(MMDD) *-3	N(4)	あり	受信情報	"MMDD":集計基準日 起算日→取扱日付→指定日→照会日
集計基準日(YYYY/MM/DD) *-3	C(10)	あり	受信情報	"YYYY/MM/DD":集計基準日 起算日→取扱日付→指定日→照会日
集計基準日(MM/DD) *-3	C(5)	あり	受信情報	"MM/DD":集計基準日 起算日→取扱日付→指定日→照会日
取引区分	N(1)	-	受信情報	"1":振込入金 "2":取立入金 "3":入金 "4":出金
取引名	C(8)	あり	受信情報	"振込入金" "取立入金" "入金" "出金"
明細区分	N(1)	-	受信情報	"0":通常明細 "1":取消明細 欠番は「0」
取引金額	N(14)	-	受信情報	取引金額(マイナス金額含む)
摘要	C(50)	あり	受信情報	摘要内容
仕向銀行名	C(15)	あり	受信情報	仕向銀行名
仕向支店名	C(15)	あり	受信情報	仕向支店名
小切手区分	C(8)	あり	受信情報	"小切手" "現金" "取立" "他券振込" "交換払" "他店券" "振替入金" "振込" "振替支払"
取立枚数	N(6)	-	受信情報	取立枚数
取立番号	C(6)	あり	受信情報	取立番号
需要家番号	C(20)	あり	受信情報	需要家番号
振込メッセージ	C(20)	あり	受信情報	振込メッセージ
CR/LF	C(2)	-	-	改行コード

*-1 取扱日付と起算日の年情報は、「処理実行日付」の年情報より補完します。
月が省略された場合は1か月以内で補完し、月と日が省略された場合は何も出力しません。
処理実行日付が「2013年9月10日」の出力結果
" 9月10日" → "20130910" : 月と日が返却され「YYYYMMDD」形式で出力
" 10日" → "20130910" : 月が省略され「YYYYMMDD」形式で出力
" " → "" : 月と日が省略され「YYYYMMDD」形式で出力

*-2 月が省略された場合は1か月以内で補完し、月と日が省略された場合は何も出力しません。
処理実行日付が「2013年9月10日」の出力結果
" 9月10日" → "0910" : 月: 年は出力されない
" 10日" → "0910" : 月: 日のみで、月を省略
" " → "" : 月: 月日を省略

*-3 ANSER受信画面から優先順位に従い設定します。
起算日と取扱日付は月が省略された場合は1か月以内で補完します。
第1優先: 起算日
第2優先: 取扱日付
第3優先: 指定日
第4優先: 処理実行日付

28. 振込振替結果ファイル(汎用出力形式)(CSV/タブ区切り)

[日常処理]-[汎用出力形式登録]メニューで登録する汎用出力形式のフォーマットです。
出力形式は、必要な項目のみ選択して出力することができます。

項目名	桁数	引用符	区分	内容
処理実行日付(YYYYMMDD)	N(8)	あり	-	"YYYYMMDD":(西暦)振込振替結果日付
処理実行日付(YYYY/MM/DD)	C(10)	あり	-	"YYYY/MM/DD":(西暦)振込振替結果日付
振込指定日(YYYYMMDD)*-1	N(8)	あり	-	"YYYYMMDD":翌営業日扱いが"3"のとき出力 振込振替完了以外は省略
振込指定日(MMDD)	N(4)	あり	-	"MMDD":翌営業日扱いが"3"のとき出力 振込振替完了以外は省略
振込指定日(YYYY/MM/DD)*-1	C(10)	あり	-	"YYYY/MM/DD":翌営業日扱いが"3"のとき出力 振込振替完了以外は省略
振込指定日(MM/DD)	C(5)	あり	-	"MM/DD":翌営業日扱いが"3"のとき出力 振込振替完了以外は省略
[出金口座]親・子区分	N(1)	-	マスター情報	"1":親口座 "2":子口座
[出金口座]口座コード	N(4)~(12)	あり	マスター情報	"9999"~"999999999999":出金口座の口座コード
[出金口座]口座の説明	C(30)	あり	マスター情報	出金口座の口座の説明
[出金口座]銀行コード	N(4)	-	マスター情報	出金口座の銀行コード
[出金口座]銀行名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	出金口座の銀行名(漢字)
[出金口座]銀行名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	出金口座の銀行名(カナ)
[出金口座]支店コード	N(3)	-	マスター情報	出金口座の支店コード
[出金口座]支店名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	出金口座の支店名(漢字)
[出金口座]支店名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	出金口座の支店名(カナ)
[出金口座]番号方式区分	N(1)	-	マスター情報	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式
[出金口座]預金種目	N(1)	-	マスター情報	出金口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
[出金口座]口座番号	N(7)	あり	マスター情報	出金口座の口座番号
[出金口座]種目コード・口座番号	N(9)	あり	マスター情報	出金口座の預金種目口座番号 預金種目2桁と口座番号7桁を出力 番号方式区分が"1"のとき出力
[出金口座]加入者番号	N(12)	あり	マスター情報	出金口座の加入者番号 番号方式区分が"2"のとき出力
[入金先口座]口座区分	N(1)	-	マスター情報	"1":親口座 "2":子口座 "4":入金先口座 該当口座なし、スポット登録、取り込みのときは省略
[入金先口座]口座コード	N(4)~(12)	あり	マスター情報	"9999"~"999999999999":入金先口座の口座コード 該当口座なし、スポット登録、取り込みのときは省略
[入金先口座]口座の説明	C(30)	あり	マスター情報	入金先口座の口座の説明
[入金先口座]口座名(カナ)	C(30)	あり	送信情報	入金先口座の口座名(カナ)
[入金先口座]銀行コード	N(4)	-	送信情報	入金先口座の銀行コード
[入金先口座]銀行名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	入金先口座の銀行名(漢字)
[入金先口座]銀行名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	入金先口座の銀行名(カナ)
[入金先口座]支店コード	N(3)	-	送信情報	入金先口座の支店コード
[入金先口座]支店名(漢字)	C(30)	あり	マスター情報	入金先口座の支店名(漢字)
[入金先口座]支店名(カナ)	C(15)	あり	マスター情報	入金先口座の支店名(カナ)
[入金先口座]番号方式区分	N(1)	-	マスター情報	"1":口座番号方式 "2":加入者番号方式 登録方式のとき出力
[入金先口座]預金種目	N(1)	-	送信情報	入金先口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他
[入金先口座]口座番号	N(7)	あり	送信情報	入金先口座の口座番号
[入金先口座]加入者番号	N(12)	あり	送信情報	入金先口座の加入者番号 登録方式で番号方式区分が"2"のとき出力
[入金先口座]受取人番号	N(12)	あり	送信情報	受取人番号 登録方式のとき出力
振込振替金額(送信情報)	N(11)	-	送信情報	振込振替金額の送信情報 金額を入力した明細は常に出力
入金先名	C(50)	あり	受信情報	入金先名 ※口座確認を実施した場合は、入金先金融機関からの受信情報
入金先金融機関名	C(15)	あり	受信情報	入金先金融機関名
入金先支店名	C(23)	あり	受信情報	入金先支店名
入金先口座種別	C(10)	あり	受信情報	入金先口座種別
入金先口座番号	C(12)	あり	受信情報	入金先口座番号
振込振替金額(受信情報)	N(11)	-	受信情報	振込振替金額の受信情報 振込振替完了以外は省略
振込手数料区分	N(1)	-	受信情報	"1":税込手数料 "2":手数料後払 "3":手数料 "4":料金相手払 "5":税抜手数料 "0":なし 振込振替完了以外は省略
振込手数料	N(5)	-	受信情報	手数料 振込振替完了以外は省略
翌営業日扱い	N(1)	-	受信情報	"1":当日扱い "2":翌営業日扱い "3":指定日扱い 振込振替完了以外は省略
受付番号(4桁-3桁)	C(8)	あり	受信情報	受付番号 "4桁-3桁" 振込振替完了以外は省略
受付番号(4桁-4桁)	C(9)	あり	受信情報	受付番号 "4桁-4桁" 後半の3桁を4桁に変換 ※英字は数字に変換 振込振替完了以外は省略
振込メッセージ	C(20)	あり	入力情報	振込メッセージ 振込振替完了以外は省略
実行結果	C(20)	あり	-	実行結果
GR/LF	C(2)	-	-	改行コード

*-1 振込指定日の年情報は、「処理実行日付」の年情報より補完します。
処理実行日付が「2016年12月30日」で振込指定日が「1月3日」の出力結果
「YYYYMMDD」 : “20170103”
「YYYY/MM/DD」 : “2017/01/03”

29. 資金移動データ 取込フォーマット(全銀形式)

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	データ区分	N(1)	○	"1":ヘッダレコード(固定)
2	ダミー	C(57)		(当システムでは未使用)
3	親口座銀行コード	N(4)	○	パターン内の親口座の銀行コード
4	ダミー	C(15)		(当システムでは未使用)
5	親口座支店コード	N(3)	○	パターン内の親口座の支店コード
6	ダミー	C(15)		(当システムでは未使用)
7	預金種目	N(1)	○	パターン内の親口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金
8	口座番号	N(7)	○	パターン内の親口座の口座番号
9	ダミー	C(17)		(当システムでは未使用)
10	CR/LF	C(2)	○	改行コード

【データレコード】

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	データ区分	N(1)	○	"2":データレコード(固定)
2	子口座銀行コード	N(4)	○	パターン内の子口座の銀行コード
3	ダミー	C(15)		(当システムでは未使用)
4	子口座支店コード	N(3)	○	パターン内の子口座の支店コード
5	ダミー	C(19)		(当システムでは未使用)
6	預金種目	N(1)	○	パターン内の子口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金
7	口座番号	N(7)	○	パターン内の子口座の口座番号
8	ダミー	C(30)		(当システムでは未使用)
9	振込金額	N(10)	○	集中・配分の場合は、指定金額 調整の場合は、目標残高
10	ダミー	C(30)		(当システムでは未使用)
11	CR/LF	C(2)	○	改行コード

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	データ区分	N(1)		"8":トレーラレコード(固定)
2	ダミー	C(119)		(当システムでは未使用)
3	CR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	データ区分	N(1)		"9":エンドレコード(固定)
2	ダミー	C(119)		(当システムでは未使用)
3	CR/LF	C(2)		改行コード

※パターン内に複数親口座が存在する資金移動データを取り込む場合は、以下のレコード構成でデータを作成します。

【例】

親口座Aに子口座aと子口座bが、親口座Bに子口座cが紐づいているパターンに金額情報を取り込む場合の形式は、以下の通りです。(マルチヘッダ構成になります。)

- 【ヘッダレコード】 :パターン内の親口座A
- 【データレコード】 :親口座に紐づいている子口座a
- 【データレコード】 :親口座に紐づいている子口座b
- 【ヘッダレコード】 :パターン内の親口座B
- 【データレコード】 :親口座に紐づいている子口座c
- 【トレーラレコード】 :ダミー
- 【エンドレコード】 :ダミー

30. 資金移動データ 取込フォーマット (CSV/タブ区切り)

取込フォーマットは、取り込むファイルの子口座情報と、指定した資金移動パターンに含まれる子口座情報を紐付けるキー項目によって異なります。

[日常処理]-[資金移動データ取り込み]メニューの[取り込みデータ形式設定]画面で、取込フォーマットの項目が存在する列番号を指定します。

【子口座キー項目が「子口座コード」の場合】

項目名	桁数	必須	内容
子口座コード	N(12)	○	パターンの子口座の子口座コード
振込金額	N(11)	○	集中・配分の場合は、指定金額 調整の場合は、目標残高
CR/LF	C(2)	○	改行コード

【子口座キー項目が「銀行コード・支店コード・預金種目・口座番号」の場合】

項目名	桁数	必須	内容
銀行コード	N(4)	○	パターンの子口座の銀行コード
支店コード	N(3)	△	パターンの子口座の支店コード 番号方式が「口座番号方式」の銀行の場合は入力必須
預金種目	N(1)	△	パターンの子口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金 "9":その他 番号方式が「口座番号方式」の銀行の場合は入力必須
口座番号	C(7)	△	パターンの子口座の口座番号 番号方式が「口座番号方式」の銀行の場合は入力必須
加入者番号	C(12)	△	パターンの子口座の加入者番号 番号方式が「加入者番号方式」の銀行の場合は入力必須
振込金額	N(11)	○	集中・配分の場合は、指定金額 調整の場合は、目標残高
CR/LF	C(2)	○	改行コード

31. 連続振込データ 取込フォーマット(全銀形式)

【ヘッダレコード】

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	データ区分	N(1)		"1":ヘッダレコード(固定)
2	ダミー	C(119)		(当システムでは未使用)
3	CR/LF	C(2)		改行コード

【データレコード】

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	データ区分	N(1)	○	"2":データレコード(固定)
2	入金先口座銀行コード	N(4)	○	入金先口座の銀行コード
3	ダミー	C(15)		(当システムでは未使用)
4	入金先口座支店コード	N(3)	○	入金先口座の支店コード
5	ダミー	C(19)		(当システムでは未使用)
6	預金種目	N(1)	○	入金先口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金
7	口座番号	N(7)	○	入金先口座の口座番号
8	入金先口座名 *-1	C(30)	△	入金先口座の説明、口座名 (カナ) 取り込みデータの口座名 (カナ)を使用する設定の場合は入力必須
9	振込金額	N(10)	○	振込振替金額
10	ダミー	C(30)		(当システムでは未使用)
11	CR/LF	C(2)	○	改行コード

【トレーラレコード】

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	データ区分	N(1)		"8":トレーラレコード(固定)
2	ダミー	C(119)		(当システムでは未使用)
3	CR/LF	C(2)		改行コード

【エンドレコード】

項番	項目名	桁数	必須	内容
1	データ区分	N(1)		"9":エンドレコード(固定)
2	ダミー	C(119)		(当システムでは未使用)
3	CR/LF	C(2)		改行コード

*-1 入金先口座名は、以下の半角文字を使用できます。

- ・数字
- ・英字
- ・カナ文字
- ・濁点、半濁点 (` `)
- ・記号 (¥ , . 「 」 () - /)
- ・スペース

※英小文字とカナ小文字は大文字に変換されます。

※「-」(長音)は「-」(ハイフン)に変換されます。

※「・」(中黒点)、「。」(句点)、「、」(読点)はスペースに変換されます。

※全銀協レコードフォーマットの「総合振込」フォーマットで作成された取り込みファイルより、データレコードの情報を入金先口座として取り込みます。ヘッダ、トレーラ、エンドレコードは取り込み対象としません。

32. 連続振込データ 取込フォーマット (CSV/タブ区切り)

[日常処理]-[連続振込 (データ取り込み)]メニューの[取り込みデータ形式設定]画面で、取込フォーマットの項目が存在する列番号を指定します。

項目名	桁数	必須	内容
銀行コード	N(4)	○	入金先口座の銀行コード
支店コード	N(3)	○	入金先口座の支店コード
預金種目	N(1)	○	入金先口座の預金種目 "1":普通預金 "2":当座預金 "4":貯蓄預金
口座番号	C(7)	○	入金先口座の口座番号
口座名 (カナ) *-1	C(30)	△	入金先口座の説明、口座名 (カナ) 取り込みデータの口座名 (カナ)を使用する設定の場合は入力必須
振込振替金額	N(11)	○	振込振替金額
CR/LF	C(2)	○	改行コード

*-1 口座名 (カナ)は、以下の半角文字を使用できます。

- ・数字
- ・英字
- ・カナ文字
- ・濁点、半濁点 (` `)
- ・記号 (¥ , . 「 」 () - /)
- ・スペース

※英小文字とカナ小文字は大文字に変換されます。

※「-」(長音)は「-」(ハイフン)に変換されます。

※「・」(中黒点)、「。」(句点)、「、」(読点)はスペースに変換されます。